

令和8年度

---

第2回 京都市桃陽病院の今後の在り方に関する検討会  
資料編

---

令和8年5月14日（木）

01\_児童福祉施設について

02\_京都市 国保レセプトデータ分析

03\_改修工事費の想定について

## 01\_児童福祉施設について

---

1. 児童福祉法による児童福祉施設（第7条）
2. 障害児入所施設
3. 児童心理治療施設

# 1. 児童福祉法による児童福祉施設（第7条）

## 1. 助産施設（入所）

対象：経済的理由等のある妊産婦

## 2. 乳児院（入所）

対象：乳児（満1歳未満）

## 3. 母子生活支援施設（入所）

対象：配偶者のいない女子とその監護すべき児童

## 4. 保育所（通所）

## 5. 幼保連携型認定こども園（通所）

## 6. 児童厚生施設（遊び場）

児童遊園（児童公園）、児童館等

## 7. 児童養護施設（入所）

対象：保護者のない児童、虐待の可能性のある児童

## 8. 障害児入所施設（入所）

## 9. 児童発達支援センター（通所）

## 10. 児童心理治療施設（入所、通所）

## 11. 児童自立支援施設（入所、通所）

対象：不良行為等のある児童

## 12. 児童家庭支援センター（相談）

## 13. 里親支援センター（相談）

**紫字：桃陽病院の対象となる入所施設**

対象：児童福祉法第36条～第44条

## 2. 障害児入所施設

### <定義>

- 障害児入所施設は**障害のある児童を入所**させて、保護、日常生活の指導及び自活に必要な知識や技能の付与を行う施設。

### <対象児童>

- 身体に障害のある児童、知的障害のある児童又は精神に障害のある児童（発達障害児を含む）
  - \* 手帳の有無は問わず、児童相談所、医師等により支援の必要性が認められた児童も対象
  - \* 3障害対応を原則とするが、障害の特性に応じた支援の提供も可能

### <分類>

- 平成24年の児童福祉法改正により、**「福祉型」と「医療型」の2つに分類。**

分類	役割
福祉型障害児入所施設	<ul style="list-style-type: none"><li>• 障害児入所施設に入所する障害児に対して、保護、日常生活における基本的な動作及び独立自活に必要な知識技能の習得のための支援を行う。</li></ul>
医療型障害児入所施設 ( <b>医療法上の病院の指定</b> )	<ul style="list-style-type: none"><li>• 障害児入所施設又は指定医療機関に入所等する障害児に対して、保護、日常生活における基本的な動作及び独立自活に必要な知識技能の習得のための<b>支援並びに治療</b>を行う。</li></ul>

## 2. 障害児入所施設

### <担うべき機能>

- 発達支援機能  
入所児への直接的な養育・支援
- 自立支援機能  
入所時からの、退所後を見据えた支援計画の実践による自立支援
- 社会的養護機能  
被虐待児への養育提供
- 地域支援機能  
家族支援、施設の機能を活かした地域支援

### <対象>

- 入所は**満18歳に達するまで**を原則とする。（認められる場合は最大22歳まで）

## 2. 障害児入所施設

### 福祉型障害児入所施設

#### ○ サービス内容

- 障害児入所施設に入所する障害児に対して、保護、日常生活の指導及び知識技能の付与を行う。

#### ○ 主な人員配置

- 児童指導員及び保育士
  - ・ 主として知的障害児又は自閉症児を入所させる施設 4.3:1以上
  - ・ 主として盲児又はろうあ児を入所させる施設
    - 乳児又は幼児 4:1以上
    - 少年 5:1以上
  - ・ 主として肢体不自由児を入所させる施設 3.5:1以上
  - ・ 児童指導員 1人以上
  - ・ 保育士 1人以上
- 児童発達支援管理責任者 1人以上

#### ○ 報酬単価 (平成30年4月～)

##### ■ 基本報酬

- 主として知的障害児を入所させる施設(利用定員に応じた単位を設定) 444～891単位
- 主として自閉症児を入所させる施設(利用定員に応じた単位を設定) 592～787単位
- 主として盲児を入所させる施設(利用定員に応じた単位を設定) 435～830単位
- 主としてろうあ児を入所させる施設(利用定員に応じた単位を設定) 434～826単位
- 主として肢体不自由児を入所させる施設(利用定員に応じた単位を設定) 702～747単位

##### ■ 主な加算

###### 児童指導員等加配加算

- 基準人員に加え、理学療法士等、保育士、児童指導員等の有資格者を加配した場合に加算  
(利用定員、提供児童等に応じた単位を設定)
- ・ 理学療法士等 8～151単位
  - ・ 児童指導員等 6～112単位

###### 小規模グループケア加算(240単位)

- 障害児に対して、小規模なグループによるケアを行った場合に加算  
【実績:36事業所】
- 強度行動障害児特別支援加算(781単位)**  
【実績:6事業所】
- 心理担当職員配置加算**  
【実績:51事業所】

###### 福祉専門職員配置等加算(4～10単位)

- ①常勤の児童指導員等のうち、社会福祉士、介護福祉士又は精神保健福祉士の資格保有状況に応じて加算、②児童指導員又は保育士等のうち、常勤職員が75%以上又は勤続3年以上の常勤職員が30%以上

## 2. 障害児入所施設

### 医療型障害児入所施設

#### ○ サービス内容

- 障害児入所施設又は指定医療機関に入所等をする障害児に対して、保護、日常生活指導及び知識技能の付与並びに治療を行う。

#### ○ 主な人員配置

- **児童指導員及び保育士**
  - ・ 主として自閉症児を入所させる施設 6.7:1以上
  - ・ 主として肢体不自由児を入所させる施設  
乳児又は幼児 10:1以上  
少年 20:1以上
  - ・ 児童指導員 1人以上
  - ・ 保育士 1人以上
- **児童発達支援管理責任者 1人以上**

#### ○ 報酬単価（平成30年4月～）

##### ■ 基本報酬

- 主として自閉症児を入所させる施設 349単位(有期有目的の支援を行う場合(入所日数に応じた単位を設定) 317～ 417単位)
- 主として肢体不自由児を入所させる施設 173単位(有期有目的の支援を行う場合(入所日数に応じた単位を設定) 158～ 204単位)
- 主として重症心身児を入所させる施設 909単位(有期有目的の支援を行う場合(入所日数に応じた単位を設定) 820～1,095単位)

##### ■ 主な加算

###### 心理担当職員配置加算(26単位)

→ 心理担当職員を配置している場合に加算。公認心理士を配置している場合は、さらに10単位を加算  
※ 主として重症心身障害児を入所させる施設及び指定発達支援医療機関を除く。

###### 小規模グループケア加算(240単位)

→ 障害児に対して、小規模なグループによるケアを行った場合に加算  
【実績:8事業所】  
**心理担当職員配置加算**  
【実績:8事業所】

###### 福祉専門職員配置等加算(4～10単位)

→ ①常勤の児童指導員等のうち、社会福祉士、介護福祉士又は精神保健福祉士の資格保有状況に応じて加算、②児童指導員又は保育士等のうち、常勤職員が75%以上又は勤続3年以上の常勤職員が30%以上

## 2. 障害児入所施設

- 福祉型は、「**知的障害児が主の施設**」が**約9割**を占める。
- 医療型は、「**重症心身障害児が主の施設**」が**約8割**を占める。

※知的障害児…知的機能の障害が発達期（おおむね18歳まで）にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別の援助を必要とする状態にあるもの。標準化された知能検査知能指数がおおむね70まで。

重症心身障害児…重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態。

		福祉型					合計			医療型			合計
		知的	自閉	盲	ろうあ	肢体				自閉	肢体	重症心身	
指定事業所数		214	1	5	6	7	233	指定事業所数		2	41 (7)	192 (71)	235
定員		6,471	40	100	141	167	6,919	定員		78	1,998 (174)	19,511 (6,716)	21,587
現員		4,940	38	65	83	139	5,265	現員		24	725 (20)	18,326 (6,216)	19,075
児童数		4,835	38	48	90	134	5,159	児童数		24	707 (20)	1,769 (545)	2,500
18歳未満	措置	3,396	8	45	72	112	3,649	18歳未満	措置	5	267 (4)	567 (132)	839
	契約	1,439	30	3	18	22	1,510		契約	19	440 (16)	1,202 (413)	1,661
18歳以上		105	0	0	0	1	106	18歳以上		0	18	95 (39)	113
	措置延長	54	0	0	0	1	55		措置延長	0	6	20 (3)	26
	契約延長	51	0	0	0	0	51		契約延長	0	12	75 (36)	87

令和7年4月時点

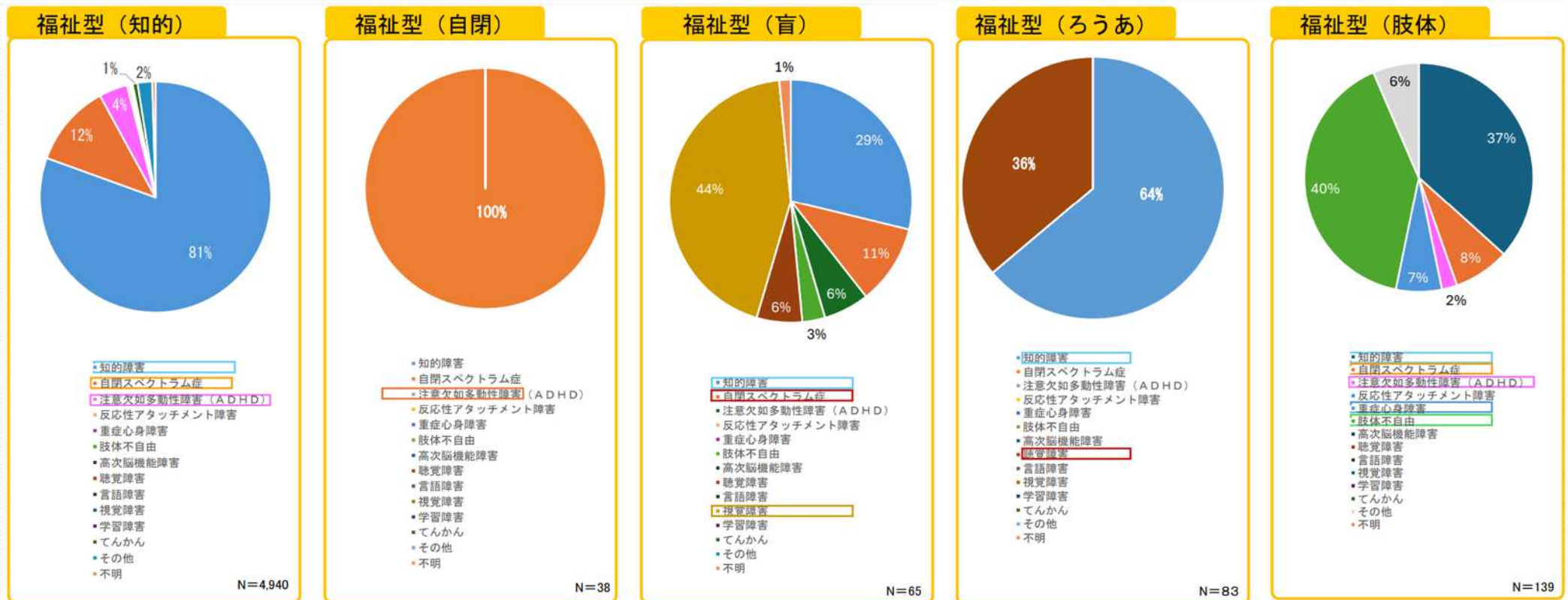
※ 重症心身障害児の定員には療養介護も含まれている。

( )内は、指定発達医療機関の内数。

出典:こども家庭庁支援局障害児支援課調べ(令和7年4月1日時点)

## 2. 障害児入所施設

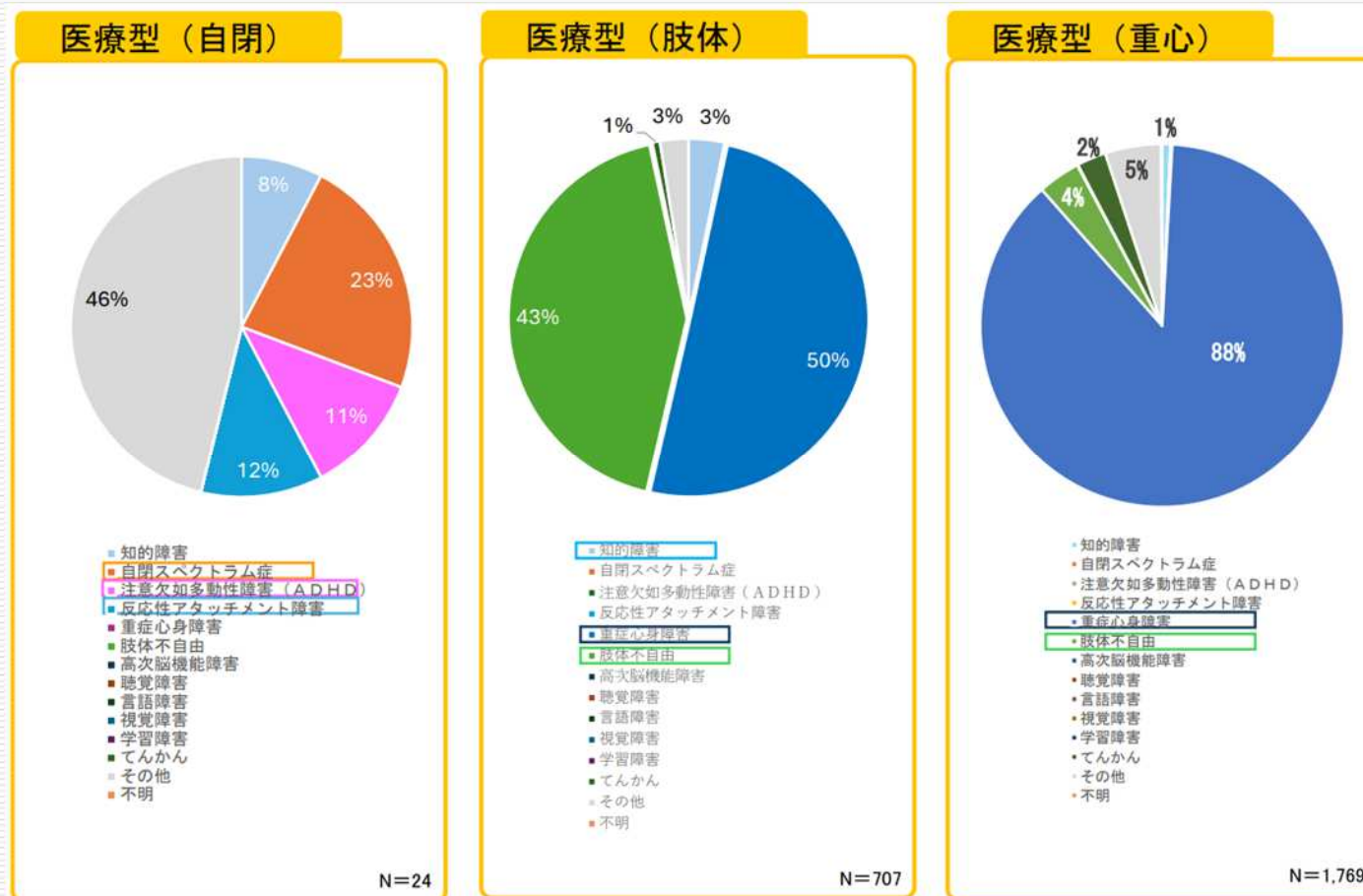
- 福祉型の入所児童の主たる障害種別は、「**知的障害**」「**自閉スペクトラム症**」「**注意欠如多動性障害（ADHD）**」を有する児童が多い。



令和7年4月時点

## 2. 障害児入所施設

- 医療型（主として自閉症児）の入所児童の主たる障害種別は、「**自閉スペクトラム症（23%）**」「**反応性アタッチメント障害（愛着障害）（12%）**」「**注意欠如多動性障害（ADHD）（11%）**」「**知的障害（8%）**」を有する児童が多い。

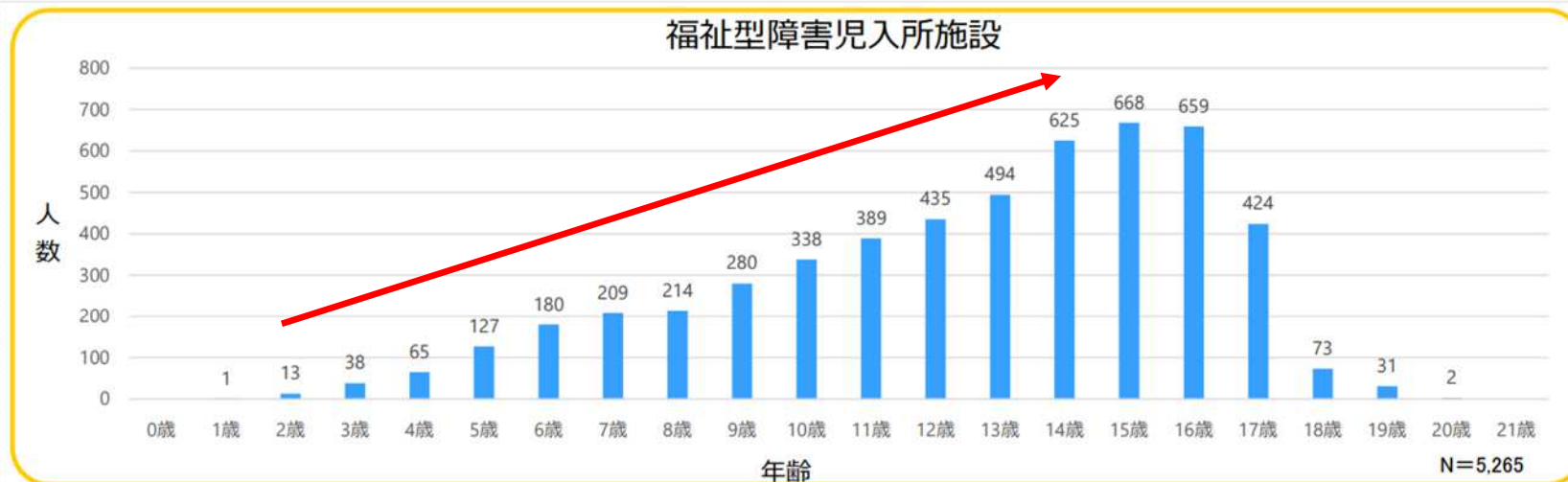


令和7年4月時点

## 2. 障害児入所施設

- 福祉型は14～16歳で入所が最も多く、**年齢が上がるにつれて入所者が増加**。
- 医療型は16歳で入所が最も多いが、**入所時の年齢に顕著な差は無い**。

### <入所時の年齢>

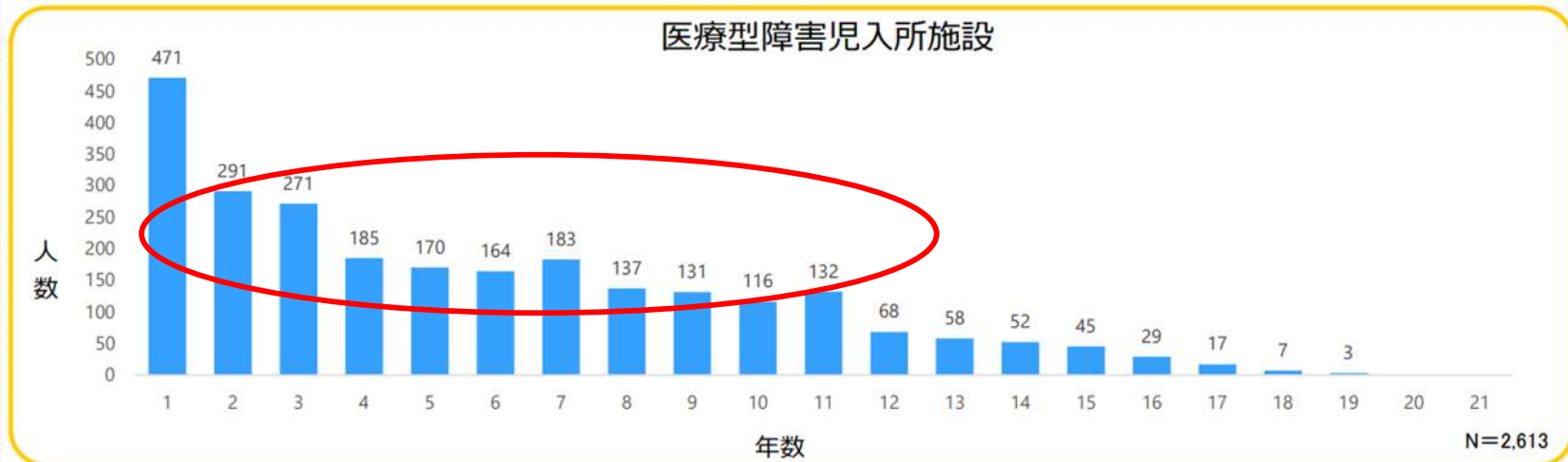


令和7年4月時点

## 2. 障害児入所施設

- 16歳で入所が最も多いため、**福祉型・医療型ともに在籍年数1年が多い。**
- **医療型は、在籍年数2～11年に顕著な差は無い。**

<在籍年数>



令和7年4月時点

## 2. 障害児入所施設

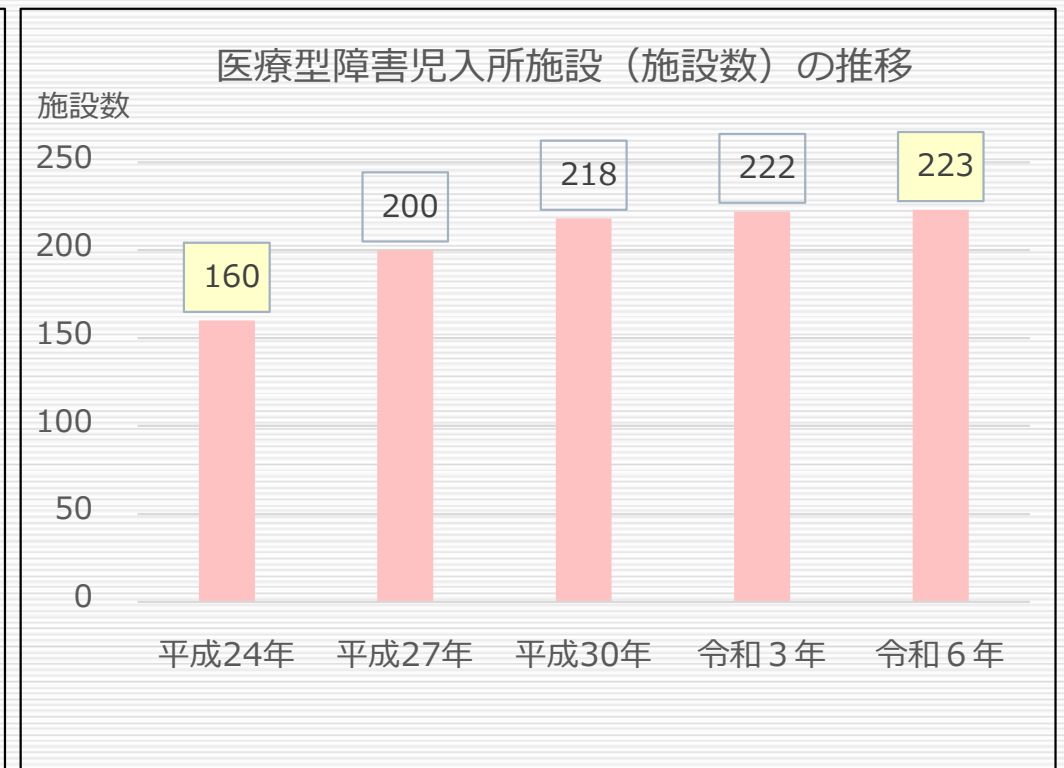
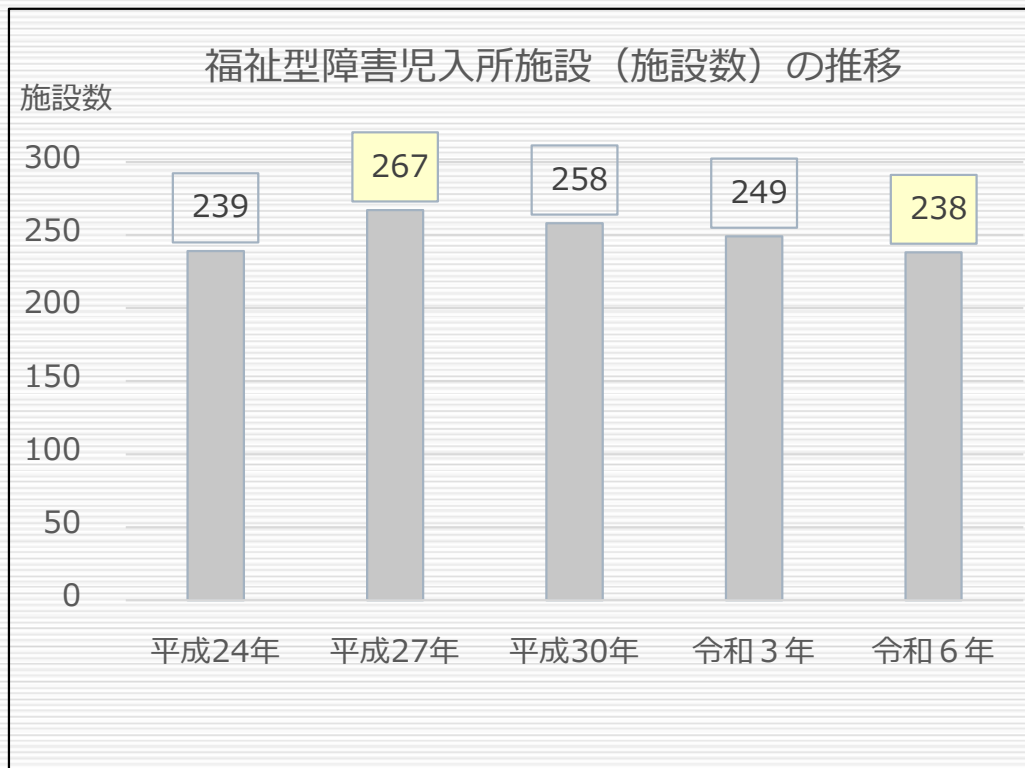
### <主な人員・設備配置基準>

職員・設備	福祉型	医療型
医師	主として自閉症児を入所させる指定福祉型障害児入所施設の場合に配置 (児童を対象とする精神科の診療に相当の経験を有すること)	医療法に規定する病院として必要とされる数
看護師	主として自閉症児を入所させる指定福祉型障害児入所施設の場合に配置 (児童20人につき1人以上)	医療法に規定する病院として必要とされる数
栄養士	1以上	医療法に規定する病院として必要とされる数
その他医療職	—	医療法に規定する病院として必要とされる数
設備	居室、調理室、浴室、便所、医務室、静養室が必要。 <居室> <ul style="list-style-type: none"> <li>居室の定員…4人以下</li> <li>障害児一人当たりの床面積…4.95平方メートル以上</li> <li>一人当たりの床面積は3.3平方メートル以上</li> <li>年齢等に応じて男女別に分けること</li> </ul> <便所> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女別に分けること</li> </ul>	医療法に規定する病院として必要とされる設備

## 2. 障害児入所施設

＜全国の障害児入所施設の施設数の推移（平成24年※～令和6年）＞

- **福祉型は、平成27年をピークに減少**（267件 → 238件）している。
- **医療型は、平成24年から大きく増加**（160件 → 223件）している。

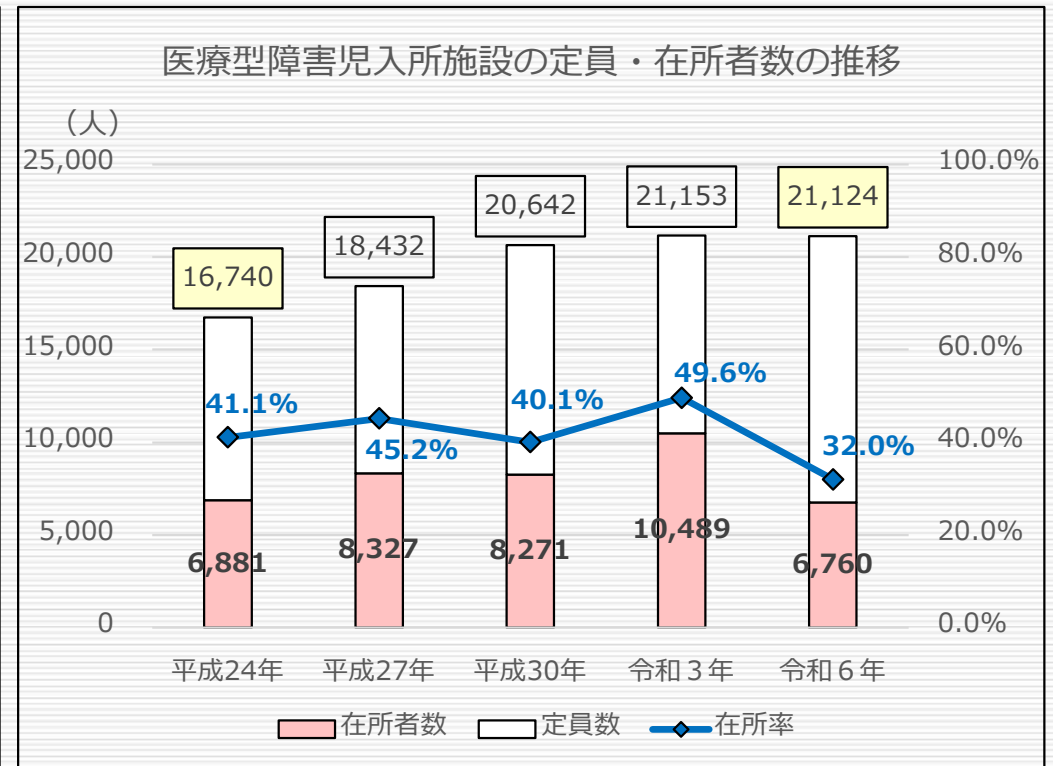
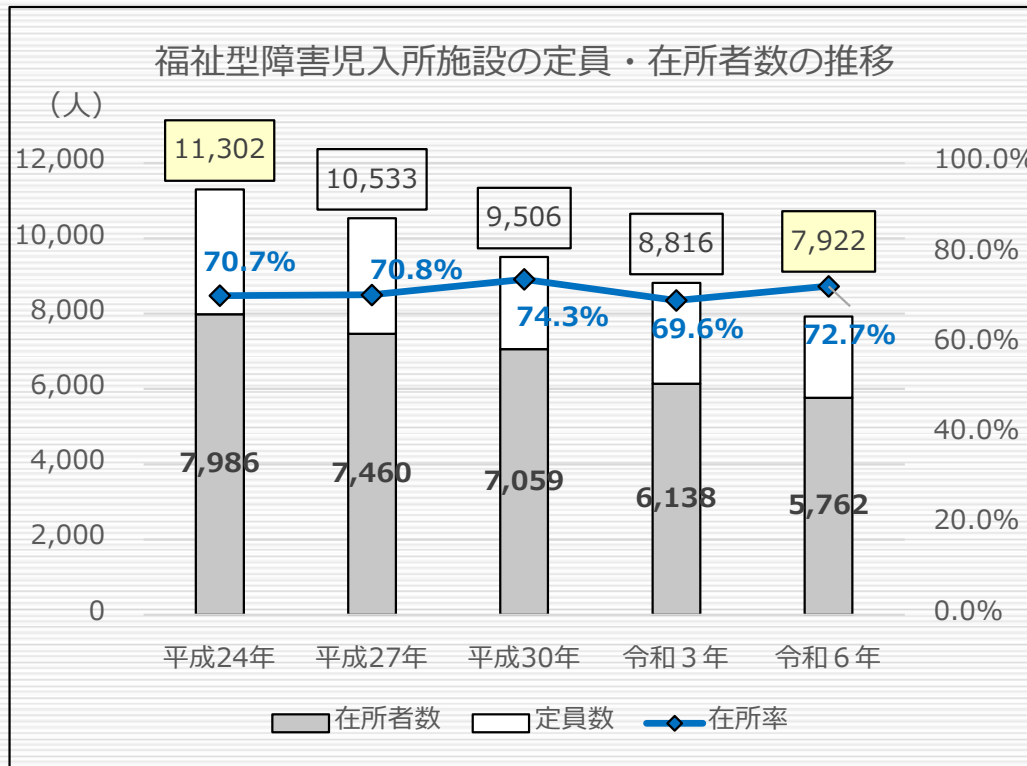


※知的障害児施設、盲児施設、ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設等が、「障害児福祉施設」として平成24年に再編。

## 2. 障害児入所施設

<全国の障害児入所施設の定員・在所要者数の推移（平成24年～令和6年）>

- **福祉型**は、**定員・在所要者数ともに減少傾向（在所率70%前後）**である。
- **医療型**は、施設数の増加に伴い**定員は増加している一方で、在所要者数は令和3年以降減少し、令和6年は平成24年と同水準となっている。（在所率40%前後）**



参考資料：厚労省「令和6年、平成27年社会福祉施設等調査 年次別定員数、在所要者数（10月1日時点）」

## 2. 障害児入所施設

### <京都市内の障害児入所施設>

施設名	事業者	住所	施設類型	定員
桃山学園※	京都府	伏見区桃山町遠山50	福祉型	27人
白川学園	(福) 白川学園	北区鷹峯北鷹峯町1	福祉型	16人
麦の穂学園	(福) 聖ヨゼフ会	北区北野東紅梅町6-1	医療型	95人(床)

※ 京都府の所管施設（京都府社会福祉事業団が指定管理者）

### <京都府内（京都市除く）の障害児入所施設>

施設名	事業者	住所	施設類型	定員
むとべ翠光園	(福) 福知山学園	福知山市	福祉型	60人 (児童20人)
京都府立舞鶴 こども療育センター	京都府	舞鶴市	医療型	35人(床)
花ノ木医療福祉センター	(福) 花ノ木	亀岡市	医療型	150人(床)
NHO南京都病院	国立病院機構	城陽市	医療型	240人(床)

### 3. 児童心理治療施設

#### <定義>

- 家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により**社会生活への適応が困難となった児童**を、短期間入所させ、又は保護者の下から通わせて、社会生活に適応するために必要な**心理に関する治療及び生活指導を主**として行い、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設。  
(平成28年まで「情緒障害児短期治療施設」)

#### <対象児の例>

場面緘黙、チック、不登校、集団不適応、多動性障害や広汎性発達障害等

#### <実施主体>

都道府県、指定都市、児童相談所設置市

### 3. 児童心理治療施設

#### <設備>

児童の居室（1室の定員4人以下、1人4.95㎡以上、男女別とする）、医務室、静養室、遊戯室、観察室、心理検査室、相談室、工作室、調理室、浴室、便所（男女別、少数の児童の場合を除く。）

#### <人員配置>

職員	設備運営基準上の人員配置基準	措置費上の配置職員
施設長	必置	1人
医師	必置	1人
心理療法担当職員	必置（児童10人につき1人）	児童7～10人につき1人
看護師	必置	1人
児童指導員、保育士	必置（児童4.5人につき1人）	児童3～4.5人につき1人
家庭支援専門相談員	必置	1～2人

### 3. 児童心理治療施設

#### <京都府にある児童心理治療施設>

施設名	事業者	住所	定員
ももの木学園	(福) 京都社会事業財団	西京区山田平尾町 5 1 - 2 8	入所35名、通所15名
るんびに学園	(福) るんびに苑	綾部市十倉中町米谷 1 6	入所30名

参考資料：全国児童心理治療施設協議会

#### <設置主体及び経営主体が自治体>

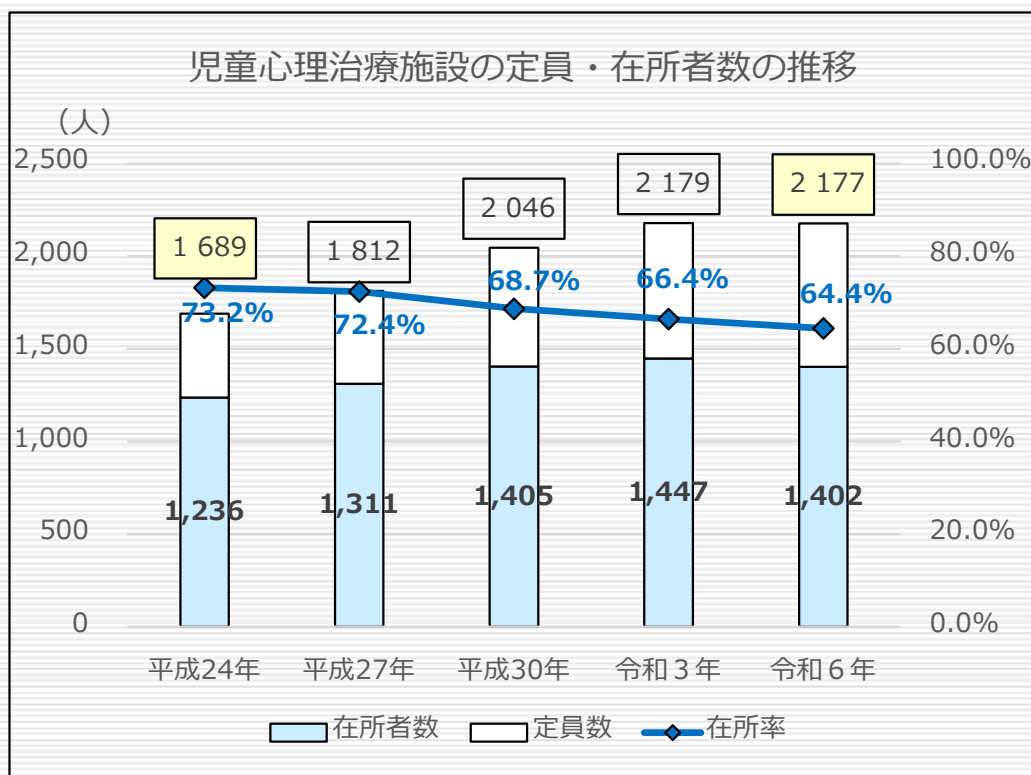
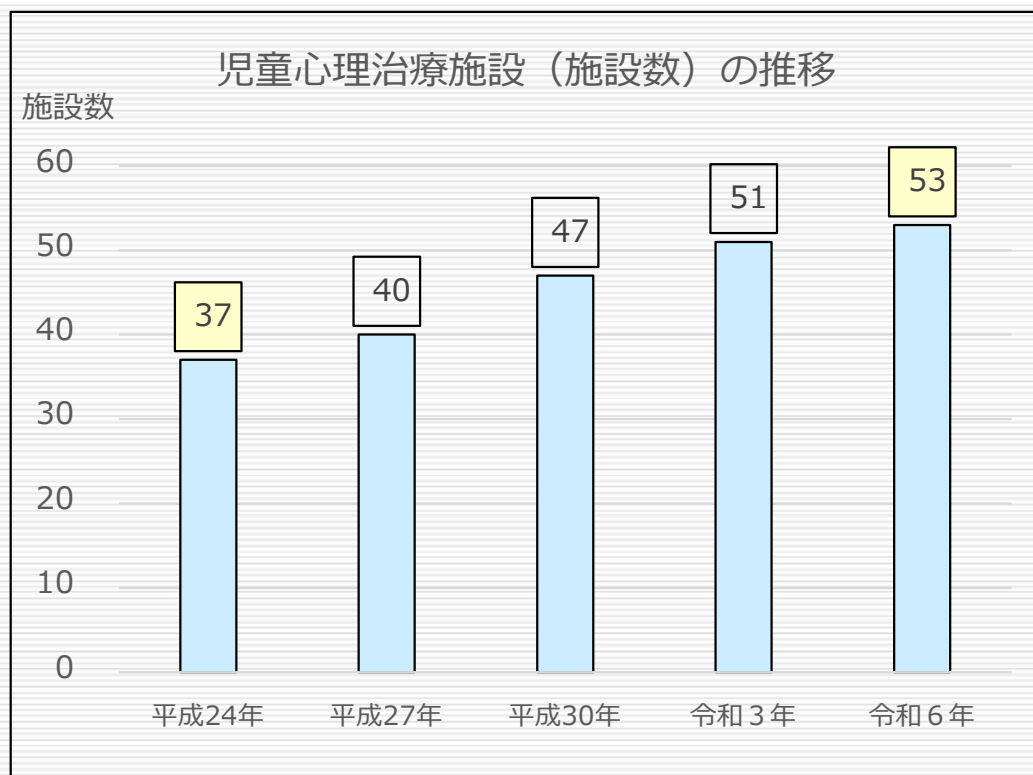
施設名	設置主体・経営主体	定員
札幌市児童心理治療センターここらぽ	札幌市	入所23名、通所5名
さいたま市子どもケアハウス	さいたま市	入所10名、通所20名
神奈川県立子ども自立生活支援センターきらり	神奈川県	入所42名
静岡県立吉原林間学園	静岡県	入所50名
県立子ども心理治療センターうぐいすの杜	山梨県	入所30名、通所15名
名古屋市くすのき学園	名古屋市	入所50名

参考資料：全国児童心理治療施設協議会

### 3. 児童心理治療施設

＜児童心理治療施設の施設数の推移（平成24年～令和6年）＞

**施設数は43%増加、定員数は29%増加**している一方で、**在所要数は13%増加**に留まっており、**在所要率は約10%低下**している（令和6年の在所要率64.4%前後）。



参考資料：厚労省「令和6年、平成27年社会福祉施設等調査 年次別施設数、定員数、在所要数（10月1日時点）」

## 4. 近畿2府4県における施設数、定員数

- 他都市と比較して、**京都市は合計施設数・定員数ともに少ない。**
- 福祉型障害児入所施設（32施設）の主たる対象は、**知的障害児が31施設**、肢体不自由児が1施設。
- 医療型障害児入所施設（34施設）の主たる対象は、**重症心身障害児が29施設**、肢体不自由児が4施設、自閉症児が1施設。

所在自治体	障害児入所施設				児童治療心理施設		合計	
	福祉型		医療型		施設数	定員	施設数	定員
	施設数	定員	施設数	定員				
京都市	2	43名	2	120名	1	35名	5	198名
京都府 (京都市以外)	1	60名	3	425名	1	30名	5	515名
滋賀県	2	122名	3	369名	1	50名	6	541名
大阪市	6	250名	4	278名	3	130名	13	658名
大阪府 (大阪市以外)	6	276名	4	627名	3	147名	13	1,050名
神戸市	4	84名	2	135名	1	30名	7	249名
兵庫県 (神戸市以外)	6	182名	7	1,010名	2	98名	15	1,290名
奈良県	3	110名	4	403名	-	-	7	513名
和歌山県	2	80名	5	416名	1	30名	8	526名

## 5. 施設基準のまとめ

		小児病棟		診療所 (療養病床を除く)	障害児入所施設		児童心理治療施設	
		小児入院 医療管理料	児童・思春期精神 入院医療管理料		医療型	福祉型		
準拠法		医療法		医療法	児童福祉法	児童福祉法	児童福祉法	
			平30.3.5保医発 0305第2		57条(設備の基 準)～61条	第48条(設備の基 準)	第72条～78条	
利用対象		病児	精神疾患のある児 童	—	障害のある児童(知的・身体・重症心 身等)		精神疾患のある児 童	
目的		—	—	—	医療+生活支援・ 療育	生活支援・療育+ 医療	治療が主	
診療科		小児科	精神科	小児科、精神科	小児科等		精神科	
1看護単位の病床数			30床以下	19床以下	—	—	—	
居室・病室につい て		収容人数	原則4人以下	原則4人以下	—	原則4人以下		
		男女の別	—	—	—	—	年齢等に応じ、 男子と女子の居室 を別にする	男子と女子の居室 は、これを別にす ること。
		1床室	6.4㎡/床(小児だけを入院させる病 室の床面積は上記の2/3以上とでき る。)		内法6.3㎡/床以上	6.4㎡/床	4.95㎡/人以上 (乳児のみの場合 は3.3㎡以上)	4.95㎡/人以上
		多床室			内法4.3㎡/床以上			
必要諸室		プレイルーム(内法 30㎡以上)、他は 一般病棟に準じる	浴室、廊下、デイ ルーム、食堂、面 会室、便所、学習 室が、当該病棟の 他の治療室とは別 に設置されている こと。	医療法上は病室以 外に必置の記載な し	医療法に準ずる基 準のほか支援室及 び浴室を設ける。 静養室(自閉症児を 入所の場合)屋外 遊技場、ギブス室、 特殊工芸等の作業 を支援するに必要 な設備、技師装具 を製作する設備	居室・調理室・浴 室・便所・医務 室・静養室・職業 指導に必要な設 備・遊戯室。	居室、医務室、静 養室、遊戯室、観 察室、心理検査室、 相談室、工作室、 調理室、浴室及び 便所	
廊下幅		片側居室	1.8m以上	1.8m以上	1.2m以上	病院に準ずる場合 が多い	1.2m以上	1.8m以上
		両側居室	2.1m以上	2.7m以上	1.6m以上		1.6m以上	2.7m以上

## (参考) その他の主な社会的養護入所施設

### <母子生活支援施設>

- **配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童**を入所させて、これらの者を**保護**するとともに、これらの者の**自立の促進のためにその生活を支援**し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設。
- 実施主体は都道府県、指定都市、中核市、市及び福祉事務所設置町村

### <児童養護施設>

- **保護者のない児童**（乳児を除く。ただし、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、乳児を含む。）、虐待されている児童その他**環境上養護を要する児童**を入所させて、これを**養護**し、あわせて退所した者に対する相談その他の**自立のための援助**を行うことを目的とする施設。
- 実地主体は都道府県、指定都市、児童相談所設置市

## (参考) その他の主な社会的養護入所施設

### <児童自立支援施設>

- **不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童**を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な**指導**を行い、その**自立を支援**し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設。
- 実施主体は都道府県、指定都市、児童相談所設置市

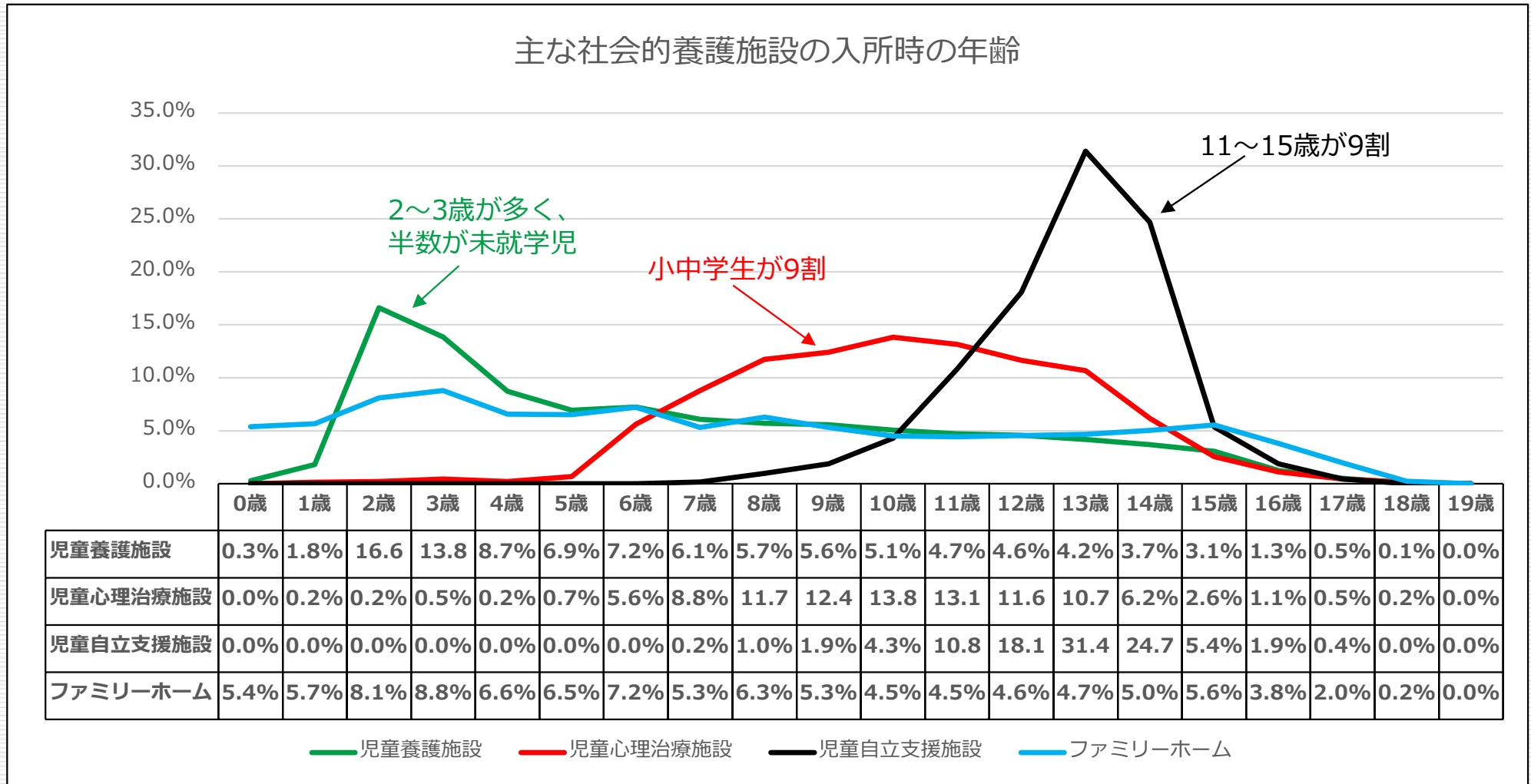
### <小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）>

- **保護児童**（保護者のない児童又は保護者に監護させることが不適當であると認められる児童）に対し、児童間の相互作用を活かしつつ、児童の自主性を尊重し、**基本的な生活習慣を確立**するとともに、豊かな人間性及び社会性を養い、**児童の自立を支援**する住居。
- 実地主体は都道府県、指定都市、児童相談所設置市

# (参考) その他の主な社会的養護入所施設

## ＜各施設の入所時の年齢＞

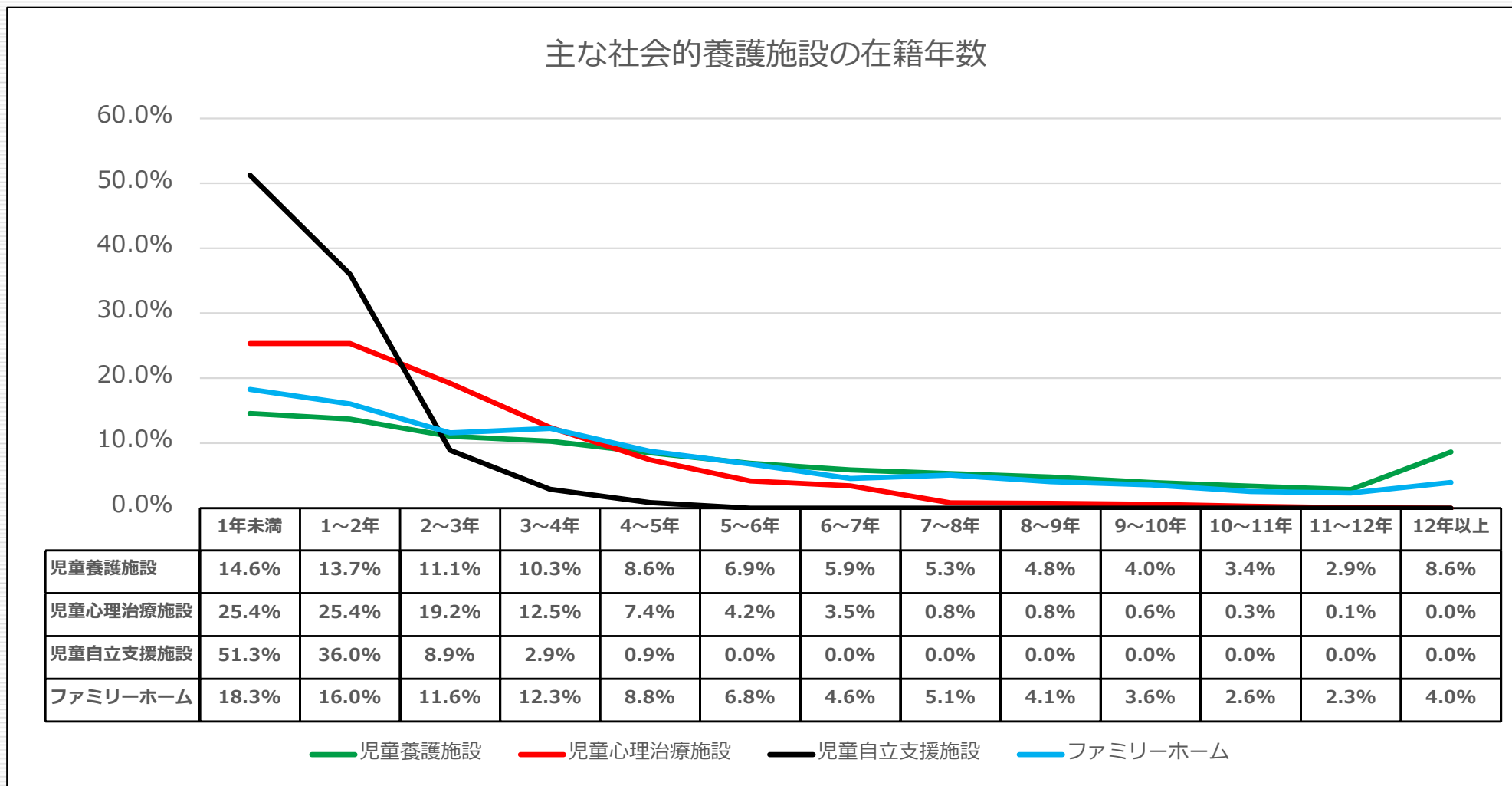
入所時の平均年齢は、児童養護施設が6.7歳、児童心理治療施設が10.2歳、児童自立支援施設が12.8歳、ファミリーホームが7.5歳であった。



# (参考) その他の主な社会的養護入所施設

## <各施設の在籍年数>

平均在籍年数は、児童養護施設が5.2年、児童心理治療施設が2.5年、児童自立支援施設が1.1年、ファミリーホームが4.3年であった。

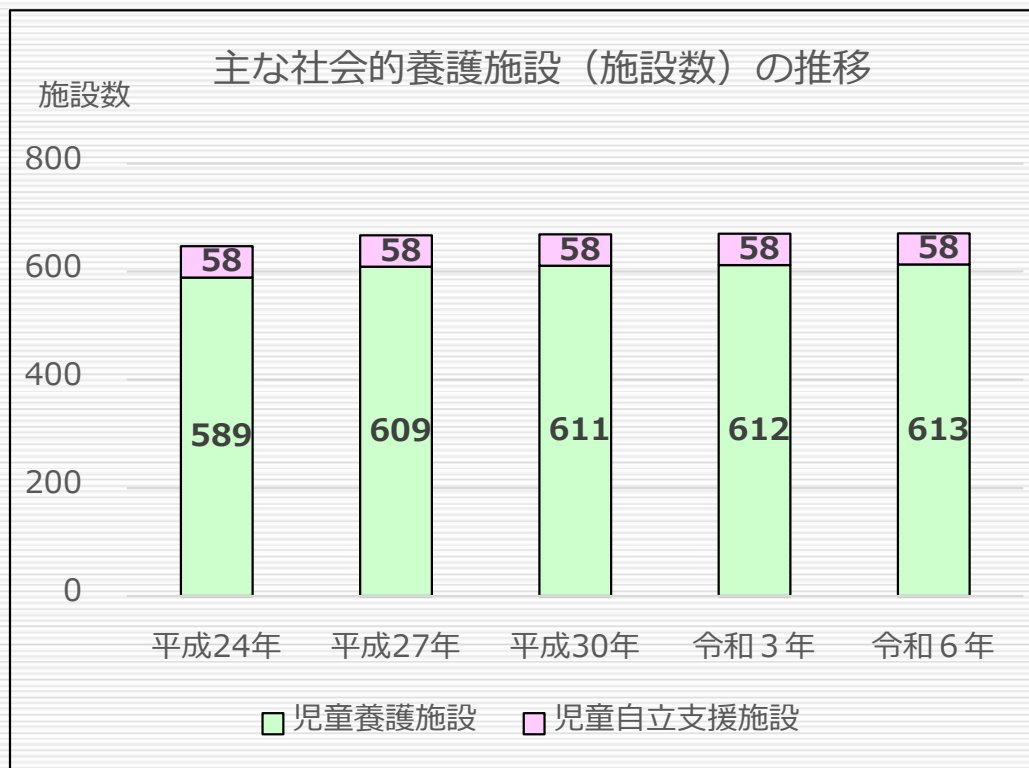


# (参考) その他の主な社会的養護入所施設

<各施設の在籍年数（平成24年～令和6年）>

施設数：**児童養護施設は24件増加**、児童自立支援施設は横ばい。

定員数：児童養護施設、児童自立支援施設の**いずれも減少**。



参考資料：厚労省「令和6年、平成27年社会福祉施設等調査 年次別施設数、定員数（10月1日時点）」

## 02\_京都市 国保レセプトデータ分析

---

1. 分析に使用したデータについて
2. 入院患者数
3. 外来患者数

# 1. 分析に使用したデータについて

## (1) 診療年月・年齢

- 国保レセプトデータ 令和6年度 被保険者が京都市内に住民票を有する20歳未満の患者

## (2) 使用データ数

- 受領データ 184,384件から、「病院」及び「診療所」に該当する146,452件を使用
- そのうち、入院は1,486件、外来 144,966件

# 1. 分析に使用したデータについて

## (3) 分析用抽出データ数

### ①入院（1,486件…（A））

- ・令和5年3月31日以前に入院した患者（41件）を除外  
※入院診療単価や診療日数が精査困難であるため。 …1,445件 ➡（A）の97.2%
- ・入院日、診療日数が不明なもの（16件）を除外  
※診療単価の算出等が不可能であるため。 …1,429件 ➡（A）の96.2%
- ・医療機関コードが不明かつ、所在地の府外・府内の  
区別が不明なもの（1件）を除外。 …1,428件 ➡（A）の96.1%

### ②外来（144,966件…（B））

- ・診療日数が不明なもの（671件）を除外  
※診療単価の算出等が不可能であるため。 …144,295件 ➡（B）の99.5%
- ・医療機関コードが不明かつ、所在地の府外・府内の  
区別が不明なもの（67件）を除外。 …144,228件 ➡（B）の99.5%

# 1. 分析に使用したデータについて

## (4) 医療機関についての補足

### ① 「その他府内」「その他府外」について

受領データのうち、患者数が著しく少ない医療機関は、予め「その他府内」「その他府外」と分類されており、医療機関コードや都道府県名が伏せられております。

そのため、「その他府内」「その他府外」と称されたデータは医療機関の区別なく1つの群として数えています。

### ② 「調査の結果不明」について

受領データのうち、医療機関コードが示されてはいるものの、各厚生局の「保険医療機関・保険薬局の指定等一覧及び保険医・保険薬剤師の新規登録一覧」にて一致する医療機関名が無かった医療機関については、「調査の結果不明」として分類しています。そのため、「調査の結果不明」と記載されている医療機関の患者等の数字は、1つの医療機関のものではなく、「調査の結果不明」と分類された全ての医療機関の合計となります。

# 1. 分析に使用したデータについて

## (5) 入院診療単価（1日あたり入院診療点数）における病床機能の分類について

- 以下の分類基準（診療報酬点数から弊社独自設定）を用いて、入院診療単価別に「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」に分類しています。

### 【1日あたりの入院診療点数】

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| ■ 5,000点以上         | : 高度急性期に分類 |
| ■ 2,700点以上5,000点未満 | : 急性期に分類   |
| ■ 2,000点以上2,700点未満 | : 回復期に分類   |
| ■ 2,000点未満         | : 慢性期に分類   |

## 2. 入院患者数

### (1) 実入院患者数

- 京都市に居住する20歳未満の患者のうち、約84.0%が京都市内の医療機関に入院しており、次いで宇治市や長岡京市の医療機関が多く利用されています。
- 京都府外の医療機関や不明となった医療機関を受診した患者は全体の約9.5%であり、**大多数の患者は京都府内の医療機関で診療や治療を受けている**ことが示されています。

【医療機関所在地別 実入院患者数】

医療機関所在地		実入院患者数（人）	割合
京都市		1,199	84.0%
その他 京都府内	宇治市	57	4.0%
	長岡京市	23	1.6%
	南丹市	4	0.3%
	向日市	3	0.2%
	城陽市	2	0.1%
	京田辺市	1	0.1%
	久世郡	1	0.1%
	亀岡市	1	0.1%
	その他医療機関（府内）	2	0.1%
	京都府外	大阪府	33
滋賀県		13	0.9%
兵庫県		2	0.1%
奈良県		1	0.1%
静岡県		1	0.1%
その他医療機関（府外）		64	4.5%
調査の結果不明		21	1.5%
合計		1,428	100.0%

【京都市内に所在する医療機関別実入院患者数】

順位	医療機関名称	実入院患者数（人）	割合
1	京都第二赤十字病院	158	13.2%
2	京都第一赤十字病院	158	13.2%
3	京都府立医科大学附属病院	153	12.8%
4	京都市立病院	120	10.0%
5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	106	8.8%
6	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	92	7.7%
7	日本パプテスト病院	70	5.8%
8	医療法人医仁会 武田総合病院	48	4.0%
9	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	40	3.3%
10	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	34	2.8%
	その他（n：40 最大32人、最小1人、平均5.5人、中央値2人、桃陽病院4人）	220	18.3%
合計		1,199	100.0%

# 2. 入院患者数

## (1) 実入院患者数

- 京都市内に居住する20歳未満の患者について、居住区ごと及び受診医療機関別に実際の入院患者数を集計した結果を、以下の表に示します。

北区			
順位	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
1	京都第二赤十字病院	33	33.3%
2	京都府立医科大学附属病院	23	23.2%
3	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	8	8.1%
4	日本バプテスト病院	7	7.1%
5	医療法人仁愛会 川村産婦人科	3	3.0%
5	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	3	3.0%
5	京都第一赤十字病院	3	3.0%
その他 (n:14)		19	19.2%
合計		99	100.0%

中京区			
順位	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
1	京都第二赤十字病院	27	24.3%
2	京都府立医科大学附属病院	23	20.7%
3	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	10	9.0%
4	京都第一赤十字病院	9	8.1%
5	京都市立病院	9	8.1%
その他 (n:15)		33	29.7%
合計		111	100.0%

上京区			
順位	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
1	京都第二赤十字病院	27	31.4%
2	京都府立医科大学附属病院	15	17.4%
3	大阪医科薬科大学病院	11	12.8%
4	京都市立病院	7	8.1%
5	医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	5	5.8%
5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	5	5.8%
その他 (n:11)		16	18.6%
合計		86	100.0%

東山区			
順位	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
1	京都第一赤十字病院	27	62.8%
2	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	5	11.6%
3	武田病院	2	4.7%
4	京都第二赤十字病院	2	4.7%
5	京都市桃陽病院	1	2.3%
5	医療法人社団順和会 京都下鴨病院	1	2.3%
5	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	1	2.3%
5	医療法人社団美友会 産科・婦人科松本クリニック	1	2.3%
5	日本バプテスト病院	1	2.3%
5	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	1	2.3%
5	その他医療機関 (府外)	1	2.3%
合計		43	100.0%

左京区			
順位	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
1	日本バプテスト病院	50	28.9%
2	京都第二赤十字病院	29	16.8%
3	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	28	16.2%
4	京都府立医科大学附属病院	23	13.3%
5	医療法人社団順和会 京都下鴨病院	10	5.8%
その他 (n:18)		33	19.1%
合計		173	100.0%

山科区			
順位	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
1	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	72	41.4%
2	京都第一赤十字病院	16	9.2%
3	京都府立医科大学附属病院	15	8.6%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	14	8.0%
5	医療法人医仁会 武田総合病院	14	8.0%
その他 (n:21)		43	24.7%
合計		174	100.0%

# 2. 入院患者数

## (1) 実入院患者数

下京区			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	京都市立病院	14	20.0%
2	京都第一赤十字病院	10	14.3%
3	京都第二赤十字病院	8	11.4%
4	京都府立医科大学附属病院	6	8.6%
5	日本ハブテスト病院	5	7.1%
	その他 (n:17)	27	38.6%
	合計	70	100.0%

南区			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	京都第一赤十字病院	25	26.3%
2	京都市立病院	14	14.7%
3	医療法人財団今井会足立病院 第二足立病院	8	8.4%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	6	6.3%
5	京都府立医科大学附属病院	5	5.3%
5	医療法人同仁会(社団) 京都九条病院	5	5.3%
5	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	5	5.3%
	その他 (n:18)	27	28.4%
	合計	95	100.0%

右京区			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	京都市立病院	41	24.0%
2	京都府立医科大学附属病院	20	11.7%
3	公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院	18	10.5%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	15	8.8%
5	京都第一赤十字病院	13	7.6%
	その他 (n:25)	64	37.4%
	合計	171	100.0%

西京区			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	京都市立病院	18	22.2%
2	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	15	18.5%
3	京都府立医科大学附属病院	9	11.1%
4	京都第二赤十字病院	8	9.9%
5	京都第一赤十字病院	7	8.6%
	その他 (n:13)	24	29.6%
	合計	81	100.0%

洛西支所			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	京都市立病院	9	21.4%
2	社会福祉法人恩賜財団京都府済生会京都済生会病院	7	16.7%
3	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	5	11.9%
4	京都第一赤十字病院	2	4.8%
4	医療法人社団ハニイ産婦人科	2	4.8%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	2	4.8%
4	京都中部総合医療センター	2	4.8%
	その他 (n:11)	13	31.0%
	合計	42	100.0%

伏見区			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	37	22.6%
2	京都第一赤十字病院	22	13.4%
3	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	17	10.4%
4	医療法人医仁会 武田総合病院	12	7.3%
4	社会福祉法人恩賜財団京都府済生会京都済生会病院	12	7.3%
	その他 (n:28)	64	39.0%
	合計	164	100.0%

深草支所			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	12	24.0%
2	京都第一赤十字病院	10	20.0%
3	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院	4	8.0%
4	京都府立医科大学附属病院	3	6.0%
5	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	2	4.0%
5	独立行政法人国立病院機構 南京都病院	2	4.0%
5	医療法人社団一心会 都倉病院	2	4.0%
5	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	2	4.0%
5	医療法人 藤田産科・婦人科医院	2	4.0%
	その他 (n:10)	11	22.0%
	合計	50	100.0%

醍醐支所			
順位	医療機関名称	実入院患者数(人)	割合
1	医療法人医仁会 武田総合病院	19	27.5%
2	京都第一赤十字病院	11	15.9%
3	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	9	13.0%
4	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	5	7.2%
5	京都府立医科大学附属病院	4	5.8%
	その他 (n:10)	21	30.4%
	合計	69	100.0%

## 2. 入院患者数

### (1) 実入院患者数

- 桃陽病院で治療される「IV内分泌、栄養及び代謝疾患」に含まれる「その他の内分泌栄養及び代謝疾患（主に肥満症等）」については、桃陽病院の**シェア率は比較的低い傾向**にあります。
- 一方で、「V精神及び行動の障害」に分類される「神経性障害やストレス関連障害」及び「その他の精神及び行動の障害」については、患者数は少ないものの、**一定の役割**を担っています。

【IV内分泌、栄養及び代謝疾患における各医療機関の実入院患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
401	甲状腺障害	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	2	3.1%
		京都市立病院	2	3.1%
		医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	1	1.6%
		国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1	1.6%
		京都府立医科大学附属病院	1	1.6%
402	糖尿病	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	1	1.6%
404	その他の内分泌、 栄養及び代謝疾患	京都第二赤十字病院	15	23.4%
		大阪医科薬科大学病院	10	15.6%
		京都市立病院	7	10.9%
		京都第一赤十字病院	6	9.4%
		医療法人医仁会 武田総合病院	5	7.8%
		京都府立医科大学附属病院	4	6.3%
		京都市桃陽病院	1	1.6%
		医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	1	1.6%
		京都回生病院	1	1.6%
		国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1	1.6%
		社会医療法人愛仁会高槻病院	1	1.6%
		社会福祉法人恩賜財団京都府済生会京都済生会病院	1	1.6%
		社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	1	1.6%
		その他医療機関（府外）	1	1.6%
		調査の結果不明	1	1.6%
		総計		

【V精神及び行動の障害における各医療機関の実入院患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	実入院患者数 (人)	割合
502	精神作用物質使用 による障害	医療法人医仁会 武田総合病院	1	4.5%
		公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院	1	4.5%
		医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	1	4.5%
		医療法人同仁会（社団）京都九条病院	1	4.5%
		その他医療機関（府外）	1	4.5%
503	統合失調症、統合 失調症型障害及び 妄想性障害	京都府立洛南病院	1	4.5%
		医療法人栄仁会宇治おうぼく病院	1	4.5%
504	気分〔感情〕障害 （うつ病など）	一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	1	4.5%
		医療法人稲門会 いわくら病院	1	4.5%
		医療法人栄仁会宇治おうぼく病院	1	4.5%
505	神経症性障害、ス トレス関連障害等	その他医療機関（府外）	1	4.5%
		京都市桃陽病院	1	4.5%
		地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	1	4.5%
		国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1	4.5%
506	知的障害（精神遅 滞）	社会医療法人大道会バース記念病院	1	4.5%
507	その他の精神及び 行動の障害	京都府立洛南病院	2	9.1%
		医療法人稲門会 いわくら病院	2	9.1%
		京都市桃陽病院	1	4.5%
		一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	1	4.5%
総計			22	100.0%

■ 桃陽病院の実外来患者数4人のうち、残りの1人の疾病分類は「VI神経系の疾患」です。

## 2. 入院患者数

### (1) 実入院患者数

- 実入院患者数で上位10位に入る病院の入院診療単価別患者構成は以下の通りです。
- **上位病院の多くは高度急性期患者を主な対象**としており、桃陽病院では4名中3名が回復期患者となっています。

	医療機関名称	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	割合
1	京都第一赤十字病院	155	3	0	0	158	11.1%
1	京都第二赤十字病院	155	3	0	0	158	11.1%
3	京都府立医科大学附属病院	149	3	1	0	153	10.7%
4	京都市立病院	114	5	0	1	120	8.4%
5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	86	17	2	1	106	7.4%
6	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	81	9	0	2	92	6.4%
7	日本バプテスト病院	24	46	0	0	70	4.9%
8	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	47	2	0	0	49	3.4%
9	医療法人医仁会 武田総合病院	34	14	0	0	48	3.4%
10	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	37	3	0	0	40	2.8%
—	京都市桃陽病院	0	0	3	1	4	0.3%
—	その他 (n : 39)	255	92	28	55	430	30.1%
	合計	1,137	197	34	60	1,428	100.0%

## 2. 入院患者数

### (1) 実入院患者数

- **京都市内の医療機関**における実入院患者数上位10病院の入院診療単価別患者構成は以下のとおりです。
- **上位病院の多くは高度急性期患者を主な対象**としており、桃陽病院では4名中3名が回復期患者となっています。

	医療機関名称	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	割合
1	京都第一赤十字病院	155	3	0	0	158	13.2%
1	京都第二赤十字病院	155	3	0	0	158	13.2%
3	京都府立医科大学附属病院	149	3	1	0	153	12.8%
4	京都市立病院	114	5	0	1	120	10.0%
5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	86	17	2	1	106	8.8%
6	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	81	9	0	2	92	7.7%
7	日本バプテスト病院	24	46	0	0	70	5.8%
8	医療法人医仁会 武田総合病院	34	14	0	0	48	4.0%
9	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	37	3	0	0	40	3.3%
10	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	15	3	3	13	34	2.8%
—	京都市桃陽病院	0	0	3	1	4	0.3%
—	その他 (n : 39)	123	50	12	31	216	18.0%
	合計	973	156	21	49	1,199	100.0%

# 2. 入院患者数

## (1) 実入院患者数

- 入院診療単価別に分類した**実入院患者数の疾病大分類ごとの内訳**は以下の通りです。
- 高度急性期では「京都第一、第二赤十字病院」が、急性期では「日本バプテスト病院」がそれぞれトップであり、桃陽病院では該当患者がゼロとなっています。
- 一方で、**回復期**に関しては桃陽病院が上位に位置しています。（次ページ参照）

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XX II	不明
高度急性期	1	京都第一赤十字病院	155	13.6%	14	1	1	6	0	9	0	5	1	49	15	3	5	6	3	17	6	0	14	0	0
	1	京都第二赤十字病院	155	13.6%	12	7	1	15	0	5	0	2	0	62	2	2	8	9	0	6	3	1	16	0	4
	2	京都府立医科大学附属病院	149	13.1%	2	9	3	5	0	9	4	5	3	11	12	1	6	7	0	11	37	2	11	0	11
	3	京都市立病院	114	10.0%	13	9	4	8	0	2	1	3	0	34	6	1	3	2	1	3	3	4	15	2	0
	4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	86	7.6%	4	4	3	1	0	12	4	3	6	10	5	2	2	1	0	6	13	0	4	0	6
	5	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	81	7.1%	9	1	0	2	0	2	0	0	1	38	4	1	0	2	0	1	0	6	14	0	0
	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
		京都市桃陽病院	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他 (n : 51)	397	34.9%	33	4	2	17	5	10	1	0	2	65	15	3	19	10	1	32	18	2	101	1	56
		合計	1,137	100.0%	87	35	14	54	5	49	10	18	13	269	59	13	43	37	5	76	80	15	175	3	77

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XX II	不明
急性期	1	日本バプテスト病院	46	23.4%	1	2	0	0	0	5	0	0	1	28	0	2	0	0	0	7	0	0	0	0	0
	2	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	17	8.6%	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11	1	0	0	0	2
	3	医療法人医仁会 武田総合病院	14	7.1%	1	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	2
	4	公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院	12	6.1%	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0	0
	5	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	9	4.6%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
		京都市桃陽病院	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他 (n : 37)	99	50.3%	9	1	0	5	10	3	0	0	1	12	4	3	0	0	0	22	1	2	8	0	18
		合計	197	100.0%	14	3	0	7	11	8	0	0	2	48	4	6	0	0	0	58	3	3	8	0	22

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳突突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの			XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	XXII 特殊目的用コード	

# 2. 入院患者数

## (1) 実入院患者数

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	病期																				
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XXII	不明
回復期	1	医療法人倅生会 身原病院	5	14.7%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0
	2	京都市桃陽病院	3	8.8%	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	3	8.8%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
	2	医療法人社団ハシイ産婦人科	3	8.8%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	5	医療法人社団 中部産婦人科医院	2	5.9%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	2	5.9%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5	一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	2	5.9%	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他 (n:9)	14	41.2%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	3
	合計	34	100.0%	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	1	2	0	0	6	

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	病期																				
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XXII	不明
慢性期	1	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	13	21.7%	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	6
	2	医療法人社団美友会 産科・婦人科本松クリニック	8	13.3%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	3	医療法人財団今井会足立病院 第二足立病院	8	13.3%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6
	4	独立行政法人国立病院機構 宇多野病院	6	10.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	5	医療法人 藤田産科・婦人科医院	4	6.7%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
		京都市桃陽病院	1	1.7%	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他 (n:10)	21	35.0%	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	3	0	1	0	0	9
	合計	60	100.0%	1	0	0	2	1	1	0	0	1	3	0	1	0	0	0	8	2	1	0	0	39	

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害		IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響			XII 特殊目的用コード

## 2. 入院患者数

### (2) 延入院患者数

- 京都市に居住する20歳未満の延入院患者のうち、**約82.1%が京都市内の医療機関**で治療を受けており、次いで宇治市や長岡京市の医療機関が続いています。
- 一方、京都府外の医療機関や調査結果が不明な患者は全体の約11.3%にとどまり、**大多数の患者は京都府内の医療機関**で診療や治療を受けている状況です。

【医療機関所在地別 延入院患者数】

医療機関所在地		延入院患者数 (人)	割合
京都市		9,278	82.1%
その他 京都府内	宇治市	444	3.9%
	長岡京市	157	1.4%
	南丹市	65	0.6%
	向日市	5	0.0%
	城陽市	61	0.5%
	京田辺市	6	0.1%
	久世郡	4	0.0%
	亀岡市	5	0.0%
	その他医療機関 (府内)	4	0.0%
	京都府外	大阪府	580
滋賀県		139	1.2%
兵庫県		11	0.1%
奈良県		6	0.1%
静岡県		4	0.0%
その他医療機関 (府外)		436	3.9%
調査の結果不明		97	0.9%
総計		11,302	100.0%

【京都市内に所在する医療機関別延入院患者数】

順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	京都府立医科大学附属病院	1,801	19.4%
2	京都市立病院	1,154	12.4%
3	京都第一赤十字病院	1,097	11.8%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1,001	10.8%
5	京都第二赤十字病院	842	9.1%
6	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	476	5.1%
7	日本バプテスト病院	422	4.5%
8	京都市桃陽病院	324	3.5%
9	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	319	3.4%
10	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	227	2.4%
その他 (40医療機関 最大205人、最小1人、平均40.4人、中央値12人)		1,615	17.4%
合計		9,278	100.0%

## 2. 入院患者数

### (2) 延入院患者数

- 京都市に居住する20歳未満の患者について、居住する行政区ごとに受診医療機関別の患者数を集計した結果を以下の表に示します。

北区			
順位	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
1	京都第二赤十字病院	135	32.8%
2	京都府立医科大学附属病院	81	19.7%
3	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	43	10.5%
4	日本バプテスト病院	31	7.5%
5	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	30	7.3%
その他 (n:16)		91	22.1%
合計		411	100.0%

中京区			
順位	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
1	京都府立医科大学附属病院	467	39.9%
2	京都第一赤十字病院	155	13.3%
3	京都第二赤十字病院	127	10.9%
4	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	84	7.2%
5	公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院	61	5.2%
5	京都中部総合医療センター	61	5.2%
その他 (n:14)		214	18.3%
合計		1,169	100.0%

上京区			
順位	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
1	京都府立医科大学附属病院	304	44.0%
2	京都第二赤十字病院	120	17.4%
3	京都市立病院	58	8.4%
4	社会福祉法人聖ヨゼフ会 肢体不自由児・重症心身障害児施設聖ヨゼフ医療福祉センター	45	6.5%
5	医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	38	5.5%
その他 (n:12)		126	18.2%
合計		691	100.0%

東山区			
順位	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
1	京都第一赤十字病院	135	32.8%
2	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	95	23.1%
3	京都市桃陽病院	64	15.6%
4	武田病院	26	6.3%
5	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	9	2.2%
その他 (n:6)		82	20.0%
合計		411	100.0%

左京区			
順位	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
1	京都府立医科大学附属病院	255	21.7%
2	日本バプテスト病院	253	21.5%
3	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	233	19.8%
4	京都第二赤十字病院	137	11.6%
5	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	59	5.0%
その他 (n:18)		239	20.3%
合計		1,176	100.0%

山科区			
順位	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
1	医療法人社団洛和会 洛和会菅羽病院	379	26.4%
2	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	328	22.9%
3	京都第一赤十字病院	157	11.0%
4	京都府立医科大学附属病院	101	7.0%
5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	73	5.1%
その他 (n:21)		395	27.6%
合計		1,433	100.0%

# 2. 入院患者数

## (2) 延入院患者数

下京区			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	京都第二赤十字病院	136	21.2%
2	京都府立医科大学附属病院	112	17.4%
3	日本バプテスト病院	80	12.4%
4	京都第一赤十字病院	79	12.3%
5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	70	10.9%
その他 (n:17)		166	25.8%
合計		643	100.0%

洛西支所			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	京都市立病院	74	32.3%
2	社会福祉法人恩賜財団京都府済生会京都済生会病院	28	12.2%
3	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	21	9.2%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	17	7.4%
5	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	12	5.2%
その他 (n:13)		77	33.6%
合計		229	100.0%

南区			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	170	27.6%
2	京都第一赤十字病院	112	18.2%
3	京都市立病院	97	15.7%
4	医療法人財団今井会足立病院 第二足立病院	32	5.2%
5	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	27	4.4%
その他 (n:20)		179	29.0%
合計		617	100.0%

伏見区			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	京都市桃陽病院	258	20.3%
2	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	198	15.5%
3	京都第一赤十字病院	151	11.9%
4	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	94	7.4%
5	社会福祉法人恩賜財団京都府済生会京都済生会病院	75	5.9%
その他 (n:28)		498	39.1%
合計		1,274	100.0%

右京区			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	京都市立病院	420	29.9%
2	京都府立医科大学附属病院	235	16.7%
3	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	153	10.9%
4	公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院	116	8.3%
5	京都第一赤十字病院	86	6.1%
その他 (n:25)		393	28.0%
合計		1,403	100.0%

深草支所			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	65	13.6%
2	独立行政法人国立病院機構 南京都病院	61	12.8%
3	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院	59	12.3%
4	京都第一赤十字病院	55	11.5%
5	京都府立医科大学附属病院	53	11.1%
その他 (n:14)		185	38.7%
合計		478	100.0%

西京区			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	京都市立病院	371	40.8%
2	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	106	11.7%
3	医療法人稲門会 いわくら病院	86	9.5%
4	京都府立医科大学附属病院	83	9.1%
5	京都第二赤十字病院	53	5.8%
その他 (n:13)		210	23.1%
合計		909	100.0%

醍醐支所			
順位	医療機関名称	延入院患者数 (人)	割合
1	京都第一赤十字病院	97	21.2%
2	医療法人医仁会 武田総合病院	70	15.3%
3	滋賀医科大学医学部附属病院	52	11.4%
4	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	46	10.0%
5	京都府立医科大学附属病院	38	8.3%
その他 (n:10)		155	33.8%
合計		458	100.0%

## 2. 入院患者数

### (2) 延入院患者数

- 桃陽病院で治療される「IV内分泌、栄養及び代謝疾患」のうち、「その他の内分泌栄養及び代謝疾患（主に肥満症等）」に関しては、全体でみると**桃陽病院のシェア率は比較的低い傾向**にあります。
- 一方、「V精神及び行動の障害」に分類される「神経性障害やストレス関連障害」及び「その他の精神及び行動の障害」については、患者数は少ないものの、**一定の役割**を担っています。

【IV内分泌、栄養及び代謝疾患における各医療機関の延入院患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
401	甲状腺障害	京都市立病院	18	7.9%
		医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	10	4.4%
		医療法人財団今井会足立病院 足立病院	10	4.4%
		国立大学法人 京都大学医学部附属病院	9	3.9%
		京都府立医科大学附属病院	5	2.2%
402	糖尿病	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	2	0.9%
404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	京都第二赤十字病院	60	26.3%
		医療法人医仁会 武田総合病院	20	8.8%
		大阪医科薬科大学病院	20	8.8%
		京都第一赤十字病院	18	7.9%
		京都市立病院	16	7.0%
		京都府立医科大学附属病院	10	4.4%
		その他医療機関（府外）	5	2.2%
		京都回生病院	5	2.2%
		医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	4	1.8%
		社会福祉法人恩賜財団京都府済生会京都済生会病院	4	1.8%
		調査の結果不明	3	1.3%
		社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	3	1.3%
		京都市桃陽病院	2	0.9%
		社会医療法人愛仁会高槻病院	2	0.9%
		国立大学法人 京都大学医学部附属病院	2	0.9%
総計			228	100.0%

【V精神及び行動の障害における各医療機関の延入院患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	延入院患者数(人)	割合
502	精神作用物質使用による障害	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院	5	0.5%
		その他医療機関（府外）	2	0.2%
		医療法人医仁会 武田総合病院	1	0.1%
		医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	1	0.1%
		医療法人同仁会（社団）京都九条病院	1	0.1%
503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	京都府立洛南病院	28	2.7%
		医療法人栄仁会宇治おうばく病院	21	2.0%
504	気分【感情】障害（うつ病等）	医療法人稲門会 いわくら病院	86	8.4%
		医療法人栄仁会宇治おうばく病院	60	5.8%
		その他医療機関（府外）	35	3.4%
		一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	3	0.3%
505	神経症性障害、ストレス関連障害等	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	328	31.9%
		京都市桃陽病院	64	6.2%
		その他医療機関（府外）	55	5.3%
506	知的障害（精神遅滞）	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	2	0.2%
		社会医療法人大道会ボバース記念病院	29	2.8%
507	その他の精神及び行動の障害	京都市桃陽病院	179	17.4%
		医療法人稲門会 いわくら病院	54	5.2%
		京都府立洛南病院	39	3.8%
		一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	36	3.5%
総計			1,029	100.0%

■ 桃陽病院の延入院患者数324人のうち、残りの79人の疾病分類は「VI神経系の疾患」です。

## 2. 入院患者数

### (2) 延入院患者数

- 延入院患者数の上位10病院における入院診療単価別の患者内訳は以下の通りです。
- 桃陽病院は実入院患者数では上位10位に入っていませんが、延入院患者数では9位に位置しています。
- 上位3病院は高度急性期の患者を多く受け入れています。京都大学医学部附属病院は回復期や慢性期の患者も一定数抱えています。
- 桃陽病院では324名中245名が回復期の患者**です。

	医療機関名称	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	割合
1	京都府立医科大学附属病院	1,694	9	98	0	1,801	15.9%
2	京都市立病院	1,095	57	0	2	1,154	10.2%
3	京都第一赤十字病院	1,062	35	0	0	1,097	9.7%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	515	184	225	77	1,001	8.9%
5	京都第二赤十字病院	811	31	0	0	842	7.5%
6	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	408	55	0	13	476	4.2%
7	日本バプテスト病院	196	226	0	0	422	3.7%
8	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	0	328	0	0	328	2.9%
9	京都市桃陽病院	0	0	245	79	324	2.9%
10	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	225	18	8	68	319	2.8%
—	その他 (n : 73)	1,976	1,155	137	270	3,538	31.3%
	合計	7,982	2,098	713	509	11,302	100.0%

## 2. 入院患者数

### (2) 延入院患者数

- **京都市内の医療機関**における延入院患者数上位10病院の入院診療単価別患者構成は以下の通りです。
- 桃陽病院は実入院患者数では上位10位に入っていませんが、延入院患者数では8位に位置しています。
- 上位3病院は高度急性期患者を多く受け入れています。京都大学医学部附属病院は回復期及び慢性期患者にも一定の割合を占めています。
- **桃陽病院では、324名中245名が回復期患者**となっています。

	医療機関名称	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	割合
1	京都府立医科大学附属病院	1,694	9	98	0	1,801	19.4%
2	京都市立病院	1,095	57	0	2	1,154	12.4%
3	京都第一赤十字病院	1,062	35	0	0	1,097	11.8%
4	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	515	184	225	77	1,001	10.8%
5	京都第二赤十字病院	811	31	0	0	842	9.1%
6	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	408	55	0	13	476	5.1%
7	日本バプテスト病院	196	226	0	0	422	4.5%
8	京都市桃陽病院	0	0	245	79	324	3.5%
9	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	225	18	8	68	319	3.4%
10	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	204	23	0	0	227	2.4%
—	その他 (n : 40)	826	597	35	157	1,615	17.4%
	合計	7,036	1,235	611	396	9,278	100.0%

# 2. 入院患者数

## (2) 延入院患者数

- 入院診療単価別にみた**延入院患者数の疾病大分類ごとの患者数内訳**は、以下の通りです。
- 高度急性期では「京都府立医科大学附属病院」が、急性期では「地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター」がそれぞれトップを占めています。
- 一方で、**回復期及び慢性期に関しては桃陽病院が第1位**となっています。(次ページ参照)

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	疾病大分類																				不明
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XX	
高度急性期	1	京都府立医科大学附属病院	1,694	21.2%	6	64	19	15	0	137	12	16	32	97	66	13	94	21	0	344	281	7	29	0	441
	2	京都市立病院	1,095	13.7%	60	510	54	21	0	5	1	32	0	161	43	4	43	5	9	60	9	12	60	6	0
	3	京都第一赤十字病院	1,062	13.3%	47	6	37	18	0	34	0	22	3	281	73	22	43	35	43	313	17	0	68	0	0
	4	京都第二赤十字病院	811	10.2%	49	103	6	60	0	21	0	22	0	293	11	20	50	59	0	50	8	3	50	0	6
	5	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	515	6.5%	19	21	20	2	0	63	10	10	33	46	20	8	7	1	0	146	77	0	7	0	25
	6	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	408	5.1%	39	2	0	6	0	11	0	0	2	188	17	3	0	6	0	5	0	17	112	0	0
	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
		京都市桃陽病院	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他 (n : 51)	2,397	30.0%	155	17	19	44	10	93	26	0	3	320	115	10	113	87	11	312	81	4	510	4	463
		合計	7,982	100.0%	375	723	155	166	10	364	49	102	73	1,386	345	80	350	214	63	1,230	473	43	836	10	935

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	疾病大分類																				不明
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XX	
急性期	1	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	328	15.6%	0	0	0	0	328	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	日本バプテスト病院	226	10.8%	4	12	0	0	0	24	0	0	13	124	0	7	0	0	0	42	0	0	0	0	0
	3	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	184	8.8%	0	0	0	9	2	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	72	11	0	0	0	83
	4	医療法人稲門会 いわくら病院	140	6.7%	0	0	0	0	140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院	96	4.6%	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	8	0	0	0	0
	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
		京都市桃陽病院	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他 (n : 37)	1,124	53.6%	94	23	0	41	177	79	0	0	1	114	42	36	0	0	0	202	53	16	76	0	170
		合計	2,098	100.0%	103	35	0	50	647	103	0	0	14	245	42	43	0	0	0	399	72	16	76	0	253

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び血管の疾患並びに免疫機構の障害				IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	
VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患		XI 消化器系の疾患		XII 皮膚及び皮下組織の疾患		XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響			XXII 特殊目的用コード	

# 2. 入院患者数

## (2) 延入院患者数

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	病期																			
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XXII
回復期	1	京都市桃陽病院	245	34.4%	0	0	0	2	243	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	225	31.6%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	225
	3	京都府立医科大学附属病院	98	13.7%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98
	4	一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	39	5.5%	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	医療法人倅生会 身原病院	23	3.2%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	2	0	0
		その他 (n : 11)	83	11.6%	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	37	1	2	0	0
		合計	713	100.0%	0	0	0	2	317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	58	1	4	0	0

	順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	病期																			
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XXII
慢性期	1	京都市桃陽病院	79	15.5%	0	0	0	0	0	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	77	15.1%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	68	13.4%	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	12	0	0	0	
	4	独立行政法人国立病院機構 宇多野病院	64	12.6%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	医療法人社団美友会 産科・婦人科松本クリニック	41	8.1%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他 (n : 10)	21	4.1%	5	0	0	0	55	0	0	0	2	24	0	2	0	0	0	12	0	2	0	0
		合計	509	100.0%	5	0	0	10	55	79	0	0	2	24	0	2	0	0	0	30	12	2	0	0

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響		XXII 特殊目的用コード	

# 3. 外来患者数

## (1) 実外来患者数

- 京都市に居住する20歳未満の実外来患者のうち、約87.9%が京都市内の医療機関を利用しており、続いて向日市や長岡京市の医療機関が利用されています。
- 京都府外の医療機関や調査対象外の医療機関は全体の約8.6%を占めており、**大多数の患者が京都府内の医療機関で診療や治療を受けている**ことが示されています。

【医療機関所在地別 実外来患者数】

医療機関所在地		実外来患者数 (人)	割合
京都市		126,758	87.9%
その他 京都府内	向日市	2,002	1.4%
	長岡京市	1,083	0.8%
	宇治市	1,325	0.9%
	久世郡	307	0.2%
	亀岡市	103	0.1%
	八幡市	97	0.1%
	京田辺市	54	0.0%
	南丹市	53	0.0%
	城陽市	27	0.0%
	木津川市	12	0.0%
	福知山市	12	0.0%
	綴喜郡	9	0.0%
	舞鶴市	8	0.0%
	その他 京都府外	大阪府	537
奈良県		457	0.3%
滋賀県		149	0.1%
東京都		139	0.1%
兵庫県		60	0.0%
愛知県		15	0.0%
三重県		15	0.0%
北海道		13	0.0%
宮崎県		9	0.0%
高知県		9	0.0%
香川県		9	0.0%
栃木県		8	0.0%
石川県		8	0.0%
静岡県		6	0.0%
その他医療機関 (府内)		2,153	1.5%
その他医療機関 (府外)		2,803	1.9%
調査の結果不明		5,988	4.2%
合計	144,228	100.0%	

【京都市内に所在する医療機関別実外来患者数】

順位	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
1	京都府立医科大学附属病院	1,993	1.6%
2	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	1,554	1.2%
3	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	1,535	1.2%
4	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	1,494	1.2%
5	京都第一赤十字病院	1,429	1.1%
6	京都第二赤十字病院	1,376	1.1%
7	京都市急病診療所	1,351	1.1%
8	京都市立病院	1,336	1.1%
9	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1,332	1.1%
10	日本バプテスト病院	1,187	0.9%
	その他 (n = 1,006 最大1,101人、最小2人、平均111.5人、中央値44.5人、桃陽病院69人)	112,171	88.5%
	合計	126,758	100.0%

# 3. 外来患者数

## (1) 実外来患者数

- 京都市に居住する20歳未満の患者について、居住する行政区ごとに受診した医療機関別の患者数を集計した結果を、下記の表に示します。

北区			
順位	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
1	医療法人 なかたにキッズクリニック	610	5.0%
2	こしざわ小児科クリニック	540	4.4%
3	医療法人松弘会 耳鼻咽喉科まつなみクリニック	531	4.4%
4	医療法人 優樹会 浅野耳鼻咽喉科クリニック	453	3.7%
5	やまもと耳鼻咽喉科クリニック	331	2.7%
その他 (n:410)		9,723	79.8%
合計		12,188	100.0%

中京区			
順位	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
1	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	626	5.7%
2	医療法人ささき小児科	413	3.8%
3	やすの医院	383	3.5%
4	医療法人とくひろこどもクリニック	271	2.5%
5	京都第二赤十字病院	251	2.3%
その他 (n:431)		9,010	82.3%
合計		10,954	100.0%

上京区			
順位	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
1	京都第二赤十字病院	293	3.9%
2	医療法人 はせがわ小児科	260	3.4%
3	いながき皮膚科クリニック	197	2.6%
4	京都府立医科大学附属病院	190	2.5%
5	医療法人博侑会 吉岡医院	174	2.3%
その他 (n:370)		6,426	85.2%
合計		7,540	100.0%

東山区			
順位	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
1	医療法人 原田病院	431	10.9%
2	いかだ皮膚科クリニック	204	5.1%
3	京都第一赤十字病院	197	5.0%
4	一般社団法人清心会 きざき小児科・小児内分沁クリニック	145	3.7%
5	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	131	3.3%
その他 (n:295)		2,854	72.0%
合計		3,962	100.0%

左京区			
順位	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
1	日本バプテスト病院	985	6.0%
2	医療法人東道医院	663	4.1%
3	医療法人洛樹会 耳鼻咽喉科いしかわクリニック	620	3.8%
4	医療法人中林こどもクリニック	499	3.1%
5	耳鼻咽喉科・アレルギー科 柴田クリニック	421	2.6%
その他 (n:442)		13,100	80.4%
合計		16,288	100.0%

山科区			
順位	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
1	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	1,306	9.0%
2	医療法人育心会 すとうキッズクリニック	1,038	7.2%
3	おおたこども・アレルギークリニック	812	5.6%
4	医療法人 京楓会 まつだ小児科	688	4.7%
5	医療法人隆幸会 まついクリニック	492	3.4%
その他 (n:429)		10,171	70.1%
合計		14,507	100.0%

# 3. 外来患者数

## (1) 実外来患者数

下京区			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	武田医院	329	4.5%
2	かどたにこどもクリニック	256	3.5%
3	たききた小児クリニック	254	3.5%
4	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	244	3.4%
5	医療法人陽宏会 中野耳鼻咽喉科	238	3.3%
その他 (n:372)		5,924	81.8%
合計		7,245	100.0%

南区			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	医療法人健祥会 いまい小児科クリニック	810	8.6%
2	公益社団法人京都保健会 吉祥院こども診療所	566	6.0%
3	医療法人里の山会 はまい皮フ科クリニック	460	4.9%
4	医療法人悠山会桂川キッズクリニック	268	2.8%
5	京都第一赤十字病院	249	2.6%
その他 (n:388)		7,057	75.0%
合計		9,410	100.0%

右京区			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	医療法人 きの小児科医院	816	4.3%
2	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	768	4.1%
3	医療法人おおまえハローキッズクリニック	738	3.9%
4	公益社団法人京都保健会 かどの三条こども診療所	583	3.1%
5	京都市立病院	488	2.6%
その他 (n:539)		15,497	82.0%
合計		18,890	100.0%

西京区			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	医療法人社団悠水会 桂川みずた耳鼻咽喉科	393	4.3%
2	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	371	4.1%
3	たばた皮フ科クリニック	345	3.8%
4	よしおかこどもクリニック	301	3.3%
5	山内医院	289	3.2%
その他 (n:300)		7,455	81.4%
合計		9,154	100.0%

洛西支所			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	医療法人 矢野小児科循環器内科医院	789	14.6%
2	耳鼻咽喉科さがわクリニック	394	7.3%
3	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	175	3.2%
4	医療法人 平盛会 耳鼻咽喉科 平杉医院	163	3.0%
5	ふなきクリニック	156	2.9%
その他 (n:243)		3,721	68.9%
合計		5,398	100.0%

伏見区			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	生嶋こどもクリニック	790	4.7%
2	医療法人みやもこどもクリニック	724	4.3%
3	谷岡皮フ科クリニック	589	3.5%
4	松岡耳鼻いんこう科	481	2.8%
5	若泉クリニック	478	2.8%
その他 (n:478)		13,884	81.9%
合計		16,946	100.0%

深草支所			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	医療法人 日比小児科内科クリニック	466	8.4%
2	医療法人おくだこどもクリニック	402	7.3%
3	山本耳鼻咽喉科医院	296	5.3%
4	医療法人 大岡医院稲荷診療所	168	3.0%
5	医療法人鴻山会 水田医院	162	2.9%
5	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	162	2.9%
その他 (n:308)		3,880	70.1%
合計		5,536	100.0%

醍醐支所			
順位	医療機関名称	実外来患者数(人)	割合
1	医療法人社団 にしむらこどもクリニック	705	11.4%
2	医療法人医仁会 武田総合病院	525	8.5%
3	かとうラビー&キッズクリニック	350	5.6%
4	医療法人 やの医院	282	4.5%
5	医療法人 西村耳鼻咽喉科医院	271	4.4%
その他 (n:231)		4,077	65.7%
合計		6,210	100.0%

# 3. 外来患者数

## (1) 実外来患者数

- 「IV内分泌、栄養及び代謝疾患」と「V精神及び行動の障害」に関する各医療機関の実外来患者数は、以下の通りとなっています。

【IV内分泌、栄養及び代謝疾患における各医療機関の実外来患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
401	甲状腺障害	京都市立病院	37	4.1%
		京都府立医科大学附属病院	24	2.7%
		医療法人社団須川医院須川クリニック	13	1.5%
		独立行政法人国立病院機構京都医療センター	12	1.3%
		京都第一赤十字病院	10	1.1%
		その他 (n:27)	58	6.5%
402	糖尿病	医療法人社団 青洛会 かみうち内科クリニック	17	1.9%
		独立行政法人国立病院機構京都医療センター	16	1.8%
		国立大学法人 京都大学医学部附属病院	12	1.3%
		ホリイ内科クリニック	11	1.2%
		一般財団法人 泉谷病院	7	0.8%
		たきもと内科クリニック	7	0.8%
		その他 (n:14)	27	3.0%
403	脂質異常症 (高脂血症)	大仲内科医院	5	0.6%
		のぶまさクリニック	3	0.3%
		おおば内科クリニック	2	0.2%
		医療法人細田内科医院	1	0.1%
		医療法人ロングウッド 六角田中クリニック	1	0.1%
		山科駅前おかだクリニック	1	0.1%
		よねばやし皮フ科クリニック	1	0.1%
		中島医院	1	0.1%
		医療法人 岩田医院	1	0.1%
		医療法人 究理堂 小石医院	1	0.1%
		その他医療機関 (府内)	3	0.3%
404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	京都市立病院	87	9.7%
		一般社団法人清心会 きざき小児科・小児内分泌クリニック	72	8.0%
		京都第一赤十字病院	61	6.8%
		京都府立医科大学附属病院	40	4.5%
		独立行政法人国立病院機構京都医療センター	19	2.1%
		その他 (n:92)	345	38.5%
合計			895	100.0%

【V精神及び行動の障害における各医療機関の実外来患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	実外来患者数 (人)	割合
502	精神作用物質使用による障害	京都府立洛南病院	3	0.1%
		医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	2	0.0%
		京都第一赤十字病院	2	0.0%
		医療法人くろやなぎ医院	2	0.0%
		その他 (n:6)	7	0.2%
503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	一般財団法人療道協会 西山病院	12	0.3%
		医療法人三幸会 三幸会うずまさクリニック	7	0.2%
		さとるメンタルクリニック	6	0.1%
		京都市第二児童福祉センター診療所	5	0.1%
		一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	4	0.1%
		かねこメンタルクリニック	4	0.1%
		医療法人桜花会 桜花会クリニック	4	0.1%
医療法人稲門会 いわくら病院	4	0.1%		
その他 (n:11)	19	0.4%		
504	気分 [感情] 障害 (うつ病等)	医療法人おくい診療所	64	1.4%
		つわぶきクリニック	29	0.7%
		みずはらクリニック	23	0.5%
		一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	22	0.5%
		医療法人 高木神経科医院	21	0.5%
医療法人藤堂クリニック	18	0.4%		
その他 (n:58)	322	7.3%		
505	神経症性障害、ストレス関連障害等	からすま五条・やましたクリニック	97	2.2%
		医療法人 桜花会 醍醐病院	34	0.8%
		出町柳たなかクリニック	32	0.7%
		京都心療内科ゆうメンタルクリニック京都院	28	0.6%
		みずはらクリニック	26	0.6%
		その他 (n:103)	669	15.1%
506	知的障害 (精神遅滞)	医療法人 桜花会 醍醐病院	33	0.7%
		京都市児童福祉センター診療所	16	0.4%
		出町柳たなかクリニック	15	0.3%
		嵯峨嵐山・田中クリニック	10	0.2%
		医療法人青風 杉山サルーテクリニック	9	0.2%
その他 (n:11)	21	0.5%		
507	その他の精神及び行動の障害	社会福祉法人聖ヨゼフ会 肢体不自由児・重症心身障害児施設聖ヨゼフ医療福祉センター	700	15.8%
		出町柳たなかクリニック	334	7.5%
		はせがわこどもクリニック	256	5.8%
		医療法人家森クリニック	179	4.0%
		京都市児童福祉センター診療所	168	3.8%
		その他 (n:100)	1,225	27.6%
		合計	4,432	100.0%

# 3. 外来患者数

## (1) 実外来患者数

- 実外来患者数上位10位の病院における疾病大分類別の患者構成は以下の通りです。
- 多くの病院で「X呼吸器系の疾患」が最も多くを占めており、次いで「XVII先天奇形、変形及び染色体異常」が続いています。

順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XXII	不明
1	京都府立医科大学附属病院	1,993	1.4%	39	78	77	121	86	100	152	33	124	23	69	112	92	62	3	80	313	73	86	5	265
2	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	1,554	1.1%	99	15	3	39	218	24	38	6	13	331	25	153	10	30	0	17	13	74	85	0	361
3	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	1,535	1.1%	120	0	0	6	0	0	43	2	0	489	13	494	1	19	0	0	0	20	19	15	294
4	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	1,494	1.0%	37	0	0	37	16	2	17	3	4	396	35	299	6	79	3	23	35	7	47	37	411
5	京都第一赤十字病院	1,429	1.0%	39	19	18	92	42	101	50	15	44	141	69	63	45	53	9	85	64	142	56	4	278
6	京都第二赤十字病院	1,376	1.0%	108	33	24	86	14	119	17	18	64	206	28	70	34	24	0	40	24	50	91	9	317
7	京都市急病診療所	1,351	0.9%	80	0	2	3	0	0	9	30	0	507	16	17	2	3	0	0	0	20	13	41	608
8	京都市立病院	1,336	0.9%	100	51	38	140	20	52	80	12	39	189	33	116	9	47	5	9	21	81	62	8	224
9	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1,332	0.9%	35	84	44	82	92	76	56	23	79	25	40	53	36	11	0	98	156	71	26	0	245
10	日本バプテスタ病院	1,187	0.8%	62	4	13	16	10	28	3	4	12	333	48	146	14	29	0	147	27	64	69	36	122
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	京都市桃陽病院	69	0.0%	0	0	0	11	26	6	2	0	1	4	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	12
	その他 (n=1,200)	129,572	89.8%	5,100	673	368	921	3,857	1,148	8,140	3,100	402	36,249	2,766	18,812	1,721	1,134	57	120	522	3,366	3,561	2,491	35,064
	合計	144,228	100.0%	5,819	957	587	1,554	4,381	1,656	8,607	3,246	782	38,893	3,145	20,335	1,970	1,491	77	619	1,175	3,972	4,115	2,646	38,201

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害		IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響		XXII 特殊目的用コード	

# 3. 外来患者数

## (1) 実外来患者数

- **京都市内の医療機関**において、実外来患者数の上位10病院における疾病大分類別の患者構成は以下のとおりです。
- 多くの病院で「**X 呼吸器系の疾患**」が最も多く、次いで「**XVII 先天奇形、変形及び染色体異常**」が続いています。

順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XXII	不明
1	京都府立医科大学附属病院	1,993	1.6%	39	78	77	121	86	100	152	33	124	23	69	112	92	62	3	80	313	73	86	5	265
2	医療法人社団洛和会 洛和会青羽病院	1,554	1.2%	99	15	3	39	218	24	38	6	13	331	25	153	10	30	0	17	13	74	85	0	361
3	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	1,535	1.2%	120	0	0	6	0	0	43	2	0	489	13	494	1	19	0	0	0	20	19	15	294
4	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	1,494	1.2%	37	0	0	37	16	2	17	3	4	396	35	299	6	79	3	23	35	7	47	37	411
5	京都第一赤十字病院	1,429	1.1%	39	19	18	92	42	101	50	15	44	141	69	63	45	53	9	85	64	142	56	4	278
6	京都第二赤十字病院	1,376	1.1%	108	33	24	86	14	119	17	18	64	206	28	70	34	24	0	40	24	50	91	9	317
7	京都市急病診療所	1,351	1.1%	80	0	2	3	0	0	9	30	0	507	16	17	2	3	0	0	0	20	13	41	608
8	京都市立病院	1,336	1.1%	100	51	38	140	20	52	80	12	39	189	33	116	9	47	5	9	21	81	62	8	224
9	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1,332	1.1%	35	84	44	82	92	76	56	23	79	25	40	53	36	11	0	98	156	71	26	0	245
10	日本バプテスト病院	1,187	0.9%	62	4	13	16	10	28	3	4	12	333	48	146	14	29	0	147	27	64	69	36	122
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
	京都市桃陽病院	69	0.1%	0	0	0	11	26	6	2	0	1	4	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	12
	その他 (n = 1,006)	112,171	88.4%	4,362	591	249	750	3,368	898	7,288	2,818	295	32,488	2,007	16,050	1,407	924	47	86	349	2,945	2,986	2,092	30,102
	合計	126,827	100.0%	5,081	875	468	1,383	3,892	1,406	7,755	2,964	675	35,132	2,386	17,573	1,656	1,281	67	585	1,002	3,551	3,540	2,247	33,239

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害		IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響		XXII 特殊目的用コード	

# 3. 外来患者数

## (2) 延外来患者数

- 京都市に居住する20歳未満の延外来患者のうち、**約87.3%が京都市内の医療機関**を受診しており、次いで向日市や長岡京市の医療機関が続いています。
- 京都府外の医療機関や調査対象外の医療機関は全体の約9.1%を占めており、**大部分の患者が京都府内の医療機関**で診療及び治療を受けている状況です。

【医療機関所在地別 延外来患者数】

医療機関所在地	延外来患者数 (人)	割合	
京都市	168,646	87.3%	
その他 京都府内	向日市	2,577	1.3%
	長岡京市	1,324	0.7%
	宇治市	1,985	1.0%
	久世郡	478	0.2%
	亀岡市	146	0.1%
	八幡市	129	0.1%
	京田辺市	69	0.0%
	南丹市	60	0.0%
	城陽市	35	0.0%
	木津川市	16	0.0%
	福知山市	18	0.0%
	綴喜郡	9	0.0%
	舞鶴市	9	0.0%
	京都府外	奈良県	723
大阪府		651	0.3%
滋賀県		194	0.1%
東京都		157	0.1%
兵庫県		111	0.1%
宮崎県		37	0.0%
愛知県		33	0.0%
三重県		22	0.0%
北海道		13	0.0%
高知県		13	0.0%
栃木県		12	0.0%
静岡県		11	0.0%
香川県		10	0.0%
石川県		8	0.0%
その他医療機関 (府内)	4,072	2.1%	
その他医療機関 (府外)	3,698	1.9%	
調査の結果不明	7,897	4.1%	
合計	193,163	100.0%	

【京都市内に所在する医療機関別延外来患者数】

順位	医療機関名称	延外来患者数 (人)	割合
1	京都府立医科大学附属病院	2,460	1.5%
2	医療法人育心会 すとうキッズクリニック	2,086	1.2%
3	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	2,061	1.2%
4	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	2,051	1.2%
5	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	2,017	1.2%
6	京都第一赤十字病院	1,793	1.1%
7	京都第二赤十字病院	1,762	1.0%
8	京都市立病院	1,732	1.0%
9	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1,654	1.0%
10	社会福祉法人聖ヨゼフ会 肢体不自由児・重症心身障害児施設聖ヨゼフ医療福祉センター	1,631	1.0%
その他 (n = 1,006 最大1,580人、最小2人、平均148.5人、中央値59人、桃陽病院77人)		149,399	88.6%
合計		168,646	100.0%

# 3. 外来患者数

## (2) 延外来患者数

- 京都市内に居住する20歳未満の患者について、居住地の行政区ごと及び受診した医療機関別の患者数を集計した結果を以下の表に示します。

北区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人松弘会 耳鼻咽喉科まつなみクリニック	796	4.8%
2	医療法人 なかたにキッズクリニック	793	4.8%
3	こしざわ小児科クリニック	773	4.7%
4	医療法人 優樹会 浅野耳鼻咽喉科クリニック	587	3.6%
5	やまもと耳鼻咽喉科クリニック	425	2.6%
その他 (n:410)		13,124	79.5%
合計		16,498	100.0%

中京区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	817	5.6%
2	医療法人ささき小児科	615	4.2%
3	やすの医院	550	3.8%
4	御所南はらしまクリニック	380	2.6%
5	医療法人とくひろこどもクリニック	362	2.5%
その他 (n:431)		11,878	81.3%
合計		14,602	100.0%

上京区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	京都第二赤十字病院	361	3.6%
2	医療法人 はせがわ小児科	342	3.5%
3	いながき皮膚科クリニック	247	2.5%
4	医療法人 すどう医院	237	2.4%
5	京都府立医科大学附属病院	232	2.3%
その他 (n:370)		8,492	85.7%
合計		9,911	100.0%

東山区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人 原田病院	598	11.6%
2	京都第一赤十字病院	273	5.3%
3	いかだ皮膚科クリニック	218	4.2%
4	一般社団法人清心会 きざき小児科・小児内分沁クリニック	202	3.9%
5	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	180	3.5%
その他 (n:295)		3,681	71.4%
合計		5,152	100.0%

左京区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	日本バプテスト病院	1,306	6.0%
2	医療法人東道医院	1,052	4.9%
3	医療法人洛樹会 耳鼻咽喉科いしかわクリニック	782	3.6%
4	医療法人中林こどもクリニック	666	3.1%
5	耳鼻咽喉科・アレルギー科 柴田クリニック	554	2.6%
その他 (n:442)		17,252	79.8%
合計		21,612	100.0%

山科区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人育心会 すとうキッズクリニック	2,001	9.9%
2	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	1,707	8.4%
3	医療法人 京楓会 まつだ小児科	1,379	6.8%
4	おおたこども・アレルギークリニック	1,018	5.0%
5	医療法人隆幸会 まついくクリニック	639	3.2%
その他 (n:429)		13,483	66.7%
合計		20,227	100.0%

# 3. 外来患者数

## (2) 延外来患者数

下京区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	武田医院	442	4.5%
2	かどたにこどもクリニック	387	3.9%
3	たききた小児クリニック	322	3.3%
4	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	309	3.1%
5	京都市立病院	286	2.9%
その他(n:372)		8,132	82.3%
合計		9,878	100.0%

洛西支所			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人 矢野小児科循環器内科医院	1,133	16.0%
2	耳鼻咽喉科さがわクリニック	530	7.5%
3	医療法人 平盛会 耳鼻咽喉科 平杉医院	257	3.6%
4	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	240	3.4%
5	山口医院	181	2.6%
その他(n:243)		4,748	67.0%
合計		7,089	100.0%

南区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人健祥会 いまい小児科クリニック	1,195	9.5%
2	公益社団法人京都保健会 吉祥院こども診療所	747	6.0%
3	医療法人里の山会 はまい皮フ科クリニック	577	4.6%
4	医療法人悠山会桂川キッズクリニック	445	3.5%
5	京都第一赤十字病院	317	2.5%
その他(n:388)		9,260	73.8%
合計		12,541	100.0%

伏見区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	生嶋こどもクリニック	1,042	4.6%
2	医療法人みやもとこどもクリニック	1,033	4.6%
3	医療法人おくだこどもクリニック	652	2.9%
4	若泉クリニック	633	2.8%
5	谷岡皮フ科クリニック	628	2.8%
その他(n:478)		18,433	82.2%
合計		22,421	100.0%

右京区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人 きの小児科医院	1,306	5.2%
2	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	1,062	4.2%
3	医療法人おおまえハローキッズクリニック	1,033	4.1%
4	公益社団法人京都保健会 かどの三条こども診療所	782	3.1%
5	医療法人 井上こどもクリニック	637	2.5%
その他(n:539)		20,352	80.9%
合計		25,172	100.0%

深草支所			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人 日比小児科内科クリニック	716	9.7%
2	医療法人おくだこどもクリニック	588	8.0%
3	山本耳鼻咽喉科医院	338	4.6%
4	医療法人 大岡医院稲荷診療所	206	2.8%
5	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	203	2.8%
その他(n:309)		5,300	72.1%
合計		7,351	100.0%

西京区			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	よしおかこどもクリニック	600	4.9%
2	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	550	4.5%
3	医療法人社団悠水会 桂川みずた耳鼻咽喉科	499	4.0%
4	たばた皮フ科クリニック	431	3.5%
5	山内医院	419	3.4%
その他(n:300)		9,842	79.8%
合計		12,341	100.0%

醍醐支所			
順位	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
1	医療法人社団 にしむらこどもクリニック	915	10.9%
2	医療法人医仁会 武田総合病院	735	8.8%
3	かとうペビー&キッズクリニック	488	5.8%
4	医療法人 西村耳鼻咽喉科医院	364	4.3%
5	医療法人 やの医院	323	3.9%
その他(n:231)		5,543	66.2%
合計		8,368	100.0%

# 3. 外来患者数

## (2) 延外来患者数

- 「IV内分泌、栄養及び代謝疾患」及び「V精神及び行動の障害」に関する各医療機関の延外来患者数は、以下のとおりです。

【IV内分泌、栄養及び代謝疾患における各医療機関の延外来患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
401	甲状腺障害	京都市立病院	44	4.2%
		京都府立医科大学附属病院	28	2.7%
		医療法人社団須川医院須川クリニック	19	1.8%
		独立行政法人国立病院機構京都医療センター	12	1.2%
		京都第一赤十字病院	12	1.2%
		その他(n:27)	73	7.0%
402	糖尿病	医療法人社団 青洛会 かみうち内科クリニック	19	1.8%
		独立行政法人国立病院機構京都医療センター	18	1.7%
		国立大学法人 京都大学医学部附属病院	16	1.5%
		ホリイ内科クリニック	11	1.1%
		一般財団法人 泉谷病院	10	1.0%
		その他(n:15)	42	4.0%
403	脂質異常症(高脂血症)	大仲内科医院	6	0.6%
		のぶまさクリニック	3	0.3%
		よねばやし皮膚科クリニック	3	0.3%
		医療法人ロングウッド 六角田中クリニック	2	0.2%
		医療法人細田内科医院	2	0.2%
		おおぼ内科クリニック	2	0.2%
その他(n:5)	8	0.8%		
404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	京都市立病院	105	10.1%
		一般社団法人清心会 きざき小児科・小児内分泌クリニック	80	7.7%
		京都第一赤十字病院	65	6.3%
		京都府立医科大学附属病院	42	4.0%
		独立行政法人国立病院機構京都医療センター	20	1.9%
		その他(n:92)	396	38.2%
		総計	1,038	100.0%

【V精神及び行動の障害における各医療機関の延外来患者数】

コード	疾病分類名	医療機関名称	延外来患者数(人)	割合
502	精神作用物質使用による障害	京都府立洛南病院	3	0.1%
		松野医院	2	0.0%
		京都第一赤十字病院	2	0.0%
		医療法人くろやなぎ医院	2	0.0%
		医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	2	0.0%
		その他(n:5)	6	0.1%
503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	一般財団法人療道協会 西山病院	32	0.5%
		さとらメンタルクリニック	13	0.2%
		医療法人三幸会 三幸会うずまさクリニック	8	0.1%
		かねこメンタルクリニック	7	0.1%
		医療法人 社団 ウエノ診療所	6	0.1%
		医療法人稲門会 いわくら病院	6	0.1%
その他(n:13)	39	0.7%		
504	気分〔感情〕障害(うつ病等)	医療法人おくい診療所	120	2.1%
		つわぶきクリニック	59	1.0%
		医療法人藤堂クリニック	49	0.8%
		医療法人 高木神経科医院	34	0.6%
		医療法人 菅原クリニック	31	0.5%
		一般財団法人長岡記念財団 長岡病院	31	0.5%
その他(n:58)	455	7.8%		
505	神経症性障害、ストレス関連障害等	からずま五条・やましたクリニック	108	1.8%
		京都心療内科ゆうメンタルクリニック京都院	46	0.8%
		医療法人 桜花会 醍醐病院	38	0.6%
		みずはらクリニック	36	0.6%
		出町柳たなかクリニック	34	0.6%
		その他(n:103)	849	14.5%
506	知的障害(精神遅滞)	医療法人 桜花会 醍醐病院	33	0.6%
		出町柳たなかクリニック	16	0.3%
		京都市児童福祉センター診療所	16	0.3%
		御所南はらしまクリニック	11	0.2%
		嵯峨嵐山・田中クリニック	10	0.2%
その他(n:11)	26	0.4%		
507	その他の精神及び行動の障害	社会福祉法人聖ヨゼフ会 肢体不自由児・重症心身障害児施設聖ヨゼフ医療福祉センター	1,009	17.3%
		出町柳たなかクリニック	360	6.2%
		はせがわこどもクリニック	340	5.8%
		医療法人家森クリニック	263	4.5%
		社会医療法人太秦病院	183	3.1%
		その他(n:100)	1,564	26.7%
		総計	5,849	100.0%

# 3. 外来患者数

## (2) 延外来患者数

- 延外来患者数上位10位の病院における疾病大分類別の患者内訳は以下の通りです。
- 実外来患者数と同様に、「X 呼吸器系の疾患」が最も多くの患者を占める病院が多く、続いて「XVII 先天奇形、変形及び染色体異常」が多く見られます。

順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	XIX	XXII	不明
1	京都府立医科大学附属病院	2,460	1.3%	66	115	87	135	106	151	166	36	163	30	86	155	116	65	4	106	390	91	105	5	282
2	医療法人育心会 すとうキッズクリニック	2,086	1.1%	71	0	0	0	0	6	14	1	2	1,631	10	235	0	7	0	0	0	12	15	3	79
3	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	2,061	1.1%	176	0	0	9	0	0	56	3	0	700	16	695	2	27	0	0	0	25	23	17	312
4	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	2,051	1.1%	64	0	0	41	19	2	24	6	7	598	46	478	9	117	4	32	49	10	57	45	443
5	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	2,017	1.0%	134	17	5	51	263	30	43	7	14	453	40	228	15	34	0	31	18	109	132	0	393
6	京都第一赤十字病院	1,793	0.9%	60	27	22	112	62	121	55	17	47	177	85	102	56	70	15	113	74	162	86	5	325
7	京都第二赤十字病院	1,762	0.9%	136	43	35	128	17	142	22	30	78	291	29	88	42	29	0	47	36	59	122	15	373
8	京都市立病院	1,732	0.9%	144	69	65	187	25	67	105	17	43	267	36	144	12	58	9	10	25	102	94	8	245
9	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1,654	0.9%	42	122	63	114	135	92	65	30	88	30	59	70	37	11	0	109	179	95	36	0	277
10	社会福祉法人聖ヨゼフ会 肢体不自由児・重症心身障害児施設聖ヨゼフ医療福祉センター	1,631	0.8%	24	0	0	13	159	190	2	0	0	0	0	20	57	0	0	37	131	583	17	0	398
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
	京都市桃陽病院	77	0.05%	0	0	0	11	28	8	2	0	2	5	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	13
	その他 (n=1,200)	173,839	90.0%	7,490	880	570	1,227	4,874	1,459	9,450	4,405	547	50,181	4,073	24,505	3,305	1,485	112	407	602	3,986	6,698	3,181	44,402
	合計	193,163	100.0%	8,407	1,273	847	2,028	5,688	2,268	10,004	4,552	991	54,363	4,484	26,720	3,651	1,903	144	892	1,504	5,238	7,385	3,279	47,542

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害		IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響		XXII 特殊目的用コード	

# 3. 外来患者数

## (2) 延外来患者数

- 京都市内に所在する医療機関のうち、延外来患者数上位10位の病院における疾病大分類別の患者内訳は以下の通りです。
- 実外来患者数と同様に、「X 呼吸器系の疾患」が最も多くの患者を占める病院が多く、次いで「XVII 先天奇形、変形及び染色体異常」が続いています。

順位	医療機関名称	患者数(人)	割合	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII	IX	XXII	不明
1	京都府立医科大学附属病院	2,460	1.5%	66	115	87	135	106	151	166	36	163	30	86	155	116	65	4	106	390	91	105	5	282
2	医療法人育心会 すとうキッズクリニック	2,086	1.2%	71	0	0	0	0	6	14	1	2	1,631	10	235	0	7	0	0	0	12	15	3	79
3	医療法人宏笑会中原ひろし小児科	2,061	1.2%	176	0	0	9	0	0	56	3	0	700	16	695	2	27	0	0	0	25	23	17	312
4	医療法人財団今井会足立病院 足立病院	2,051	1.2%	64	0	0	41	19	2	24	6	7	598	46	478	9	117	4	32	49	10	57	45	443
5	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	2,017	1.2%	134	17	5	51	263	30	43	7	14	453	40	228	15	34	0	31	18	109	132	0	393
6	京都第一赤十字病院	1,793	1.1%	60	27	22	112	62	121	55	17	47	177	85	102	56	70	15	113	74	162	86	5	325
7	京都第二赤十字病院	1,762	1.0%	136	43	35	128	17	142	22	30	78	291	29	88	42	29	0	47	36	59	122	15	373
8	京都市立病院	1,732	1.0%	144	69	65	187	25	67	105	17	43	267	36	144	12	58	9	10	25	102	94	8	245
9	国立大学法人 京都大学医学部附属病院	1,654	1.0%	42	122	63	114	135	92	65	30	88	30	59	70	37	11	0	109	179	95	36	0	277
10	社会福祉法人聖ヨゼフ会 肢体不自由児・重症心身障害児施設聖ヨゼフ医療福祉センター	1,631	1.0%	24	0	0	13	159	190	2	0	0	0	0	20	57	0	0	37	131	583	17	0	398
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
	京都市桃陽病院	77	0.05%	0	0	0	11	28	8	2	0	2	5	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	13
	その他 (n = 1,006)	149,399	88.5%	6,442	767	413	1,021	4,205	1,104	8,429	4,047	423	45,140	2,984	20,989	2,748	1,206	92	354	367	3,437	5,605	2,689	36,860
	合計	168,723	100.0%	7,359	1,160	690	1,822	5,019	1,913	8,983	4,194	867	49,322	3,395	23,204	3,094	1,624	124	839	1,269	4,689	6,292	2,787	40,000

I 感染症及び寄生虫症	II 新生物(腫瘍)	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患	XI 消化器系の疾患	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	XIV 泌尿器系の疾患	XV 妊娠、分娩及び産褥
XVI 周産期に発生した病態	XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響		XXII 特殊目的用コード	

## 03\_改修工事費の想定について

---

1. 改修工事費の算出の前提
2. 新築工事費単価から類推する改修工事費試算
3. 改修工事費単価事例を使用した試算

# 1. 改修工事費算出の前提

1. 既存建物の躯体は継続使用可能と想定する。
2. 建築の外装・内装についても耐用年数を超過している部分がほとんどであり、改修は間仕切り変更が必須であると考えるため既存の内装、外装は継続使用できる部分はないと想定する。
3. 設備については、受変電設備、蓄電池設備、各室の照明器具、居室のエアコンの更新年が確認されており、標準的な耐用年数から考えては継続使用可能と思われるがそれ以外の大半の設備については更新が必要である。(別紙建築設備劣化度判定参照)
4. よって今回は**躯体以外の内・外仕上げ、設備についてすべてやり替える**と想定する。ただし、どのようにやり替えるかが未定であるので、「**m<sup>2</sup>当たりの改修単価の概算値×改修面積**」で算出する。
5. 改修面積は「**既存4,571m<sup>2</sup>の全館を改修する**」ものとする。

## 2. 新築工事費単価から類推する改修工事費試算

### (1) 新築工事費単価から類推する場合

- 最近の高機能でない新築病院においても、工事費単価は税込みで**110~120万円/m<sup>2</sup>**に達しています。
- 一般的に**躯体工事費は総工事費の約30%**を占め、残りの仕上げや設備工事費が約70%を占めると見込まれます。
- したがって、躯体を残した全面改修の単価は**77~84万円/m<sup>2</sup>**と推定されます。  
改修工事費 = 4,571m<sup>2</sup> × (77~84万円/m<sup>2</sup>) = **35.2~38.4億円**
- なお、この試算は全館を一時使用停止し、空の状態で行う場合を想定しています。現病院を稼働させつつ部分的に工事を進める場合は、工期が延びるため、**新築工事以上の費用が発生する可能性**があります。

### 3. 改修工事単価の事例を使った算出

#### (1) 東京都が令和7年度用に示した標準建物予算単価（改修編）より類推する場合

- 東京都が令和7年度用に示した標準建物予算単価（改修編）によると、病院（主に病棟）を対象とした**大規模改修の単価は36.59万円/m<sup>2</sup>**と設定されています。
- これに一般的な経費率20%及び消費税10%を加算すると、工事費単価は、 $36.59 \times 1.2 \times 1.1 = \mathbf{48.3万円/m^2}$ （税込み）となります。
- 仮にこの単価を用いて全館改修の工事費を試算すると、**改修工事費は、4,571m<sup>2</sup> × 48.3万円/m<sup>2</sup> = 約22.1億円**となります。
- ただし、ここには外壁のリフレッシュや外部建具の交換、自家発電設備、受変電設備、昇降機設備、排煙設備等は含まれていません。
- これらの費用を加算する場合は、当該建物の設計を行い、詳細な概算を算出する必要があります。

## 4. 病院整備に関する補助金等について

### (1) 病床数適正化緊急支援事業（厚生労働省）

- 桃陽病院の再整備等において一定の要件を満たす場合には、「**病床数適正化緊急支援事業**（厚生労働省）」の活用が可能と考えられます。
- 本事業は、医療需要の変化を踏まえた効率的かつ持続可能な医療提供体制の確保を目的として、**病床削減に取り組む医療機関**に対し、診療体制の再編や雇用維持等に伴う経営上の負担軽減を図るための支援を行うものです。
- 実施主体は都道府県とされており、令和7年12月16日から令和9年3月31日までの間に病床削減を実施した医療機関に対して、所定の給付金が支給されます。
- 給付額は、**削減した病床1床当たり最大410.4万円**（休床の場合は205.2万円）を基準として算定されます。
- 対象となるのは、**事業計画の提出や地域医療構想との整合を前提**として病床削減を実施する医療機関であり、単なる病床種別の変更や、機能維持の観点から必要と認められる病床等は対象外とされています。
- ただし、小児科部門の病床削減は原則として算定対象外と規定されています。桃陽病院が担う小児精神医療の専門性を鑑みると、病床削減が「地域の小児医療提供体制に支障を来す」と判定されるリスクが高く、実質的に補助金の受給が困難となる可能性が高い状況です。